

熊谷スマートシティの現状報告

～令和7年度に向けた流れとまちづくりの方向性～

1. スマートシティ関係のR 5～R 7年度の流れ

1. スマートシティ関係のR 5～R 7年度の流れ

○R 5年度 市民サービスの基盤づくり・デジタルと人の力

(スマートシティ宣言、データ連携基盤、クマぶらの都市ポータル化、クマPAY・クマポ、バススマホ回数券の実装)

○R 6年度 市民がデータを生み出し、活用してのまちづくり参画へ

(コミュニティラボキックオフ、スマートクールシティWS、WebGISプラットフォームなど)



○R 7年度 デジタル産業まちづくりへの着手

(暑さ対策、ロボット・ドローン含む)

1. スマートシティ関係のR 5～R 7年度の流れ

○R 7年度 デジタル産業まちづくりへの着手

◎デジタル×暑さ対策・・・まちづくりとの連携を確保する形で維持

(当面の目標) 「デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ」への掲載を目指す。

◎ロボット、ドローン・・・県庁(仮称)S A I T A M Aロボティクスセンターなど)、国(秩父市周辺などでのドローン実証)、団体(ロボットビジネス支援機構)などから実証の提案を受けられる素地づくりに取り組む。

- 熊谷市近隣の生活支援ロボメーカーとの連携
- まちなかで各種ロボットに触れる機会の増大(中央公園で芝刈りロボット、星川通りで追従型ロボット、星溪園で水中用ドローンなど。)
- ロボットの取組の視野には、将来的に自動運転、スマート農業等が普及しやすい土壌づくりも含める。(逆にそれらの分野の技術でロボットの取組みが発展する効果にも期待。)

1. スマートシティ関係のR 5～R 7年度の流れ

「JAPAN DX Player AWARD 2024」で熊谷スマートシティが 官公庁部門第3位に！

これまでの取組及び今後のビジョンについて、「熊谷スマートシティ DXを活用し安心して暮らせる気温コンパチブルな都市生活と産業共創」をテーマにエントリーした。その結果、官民連携による特色あるまちづくりが高く評価され、官公庁部門で全国3位となった。

【評価ポイント（予想）】

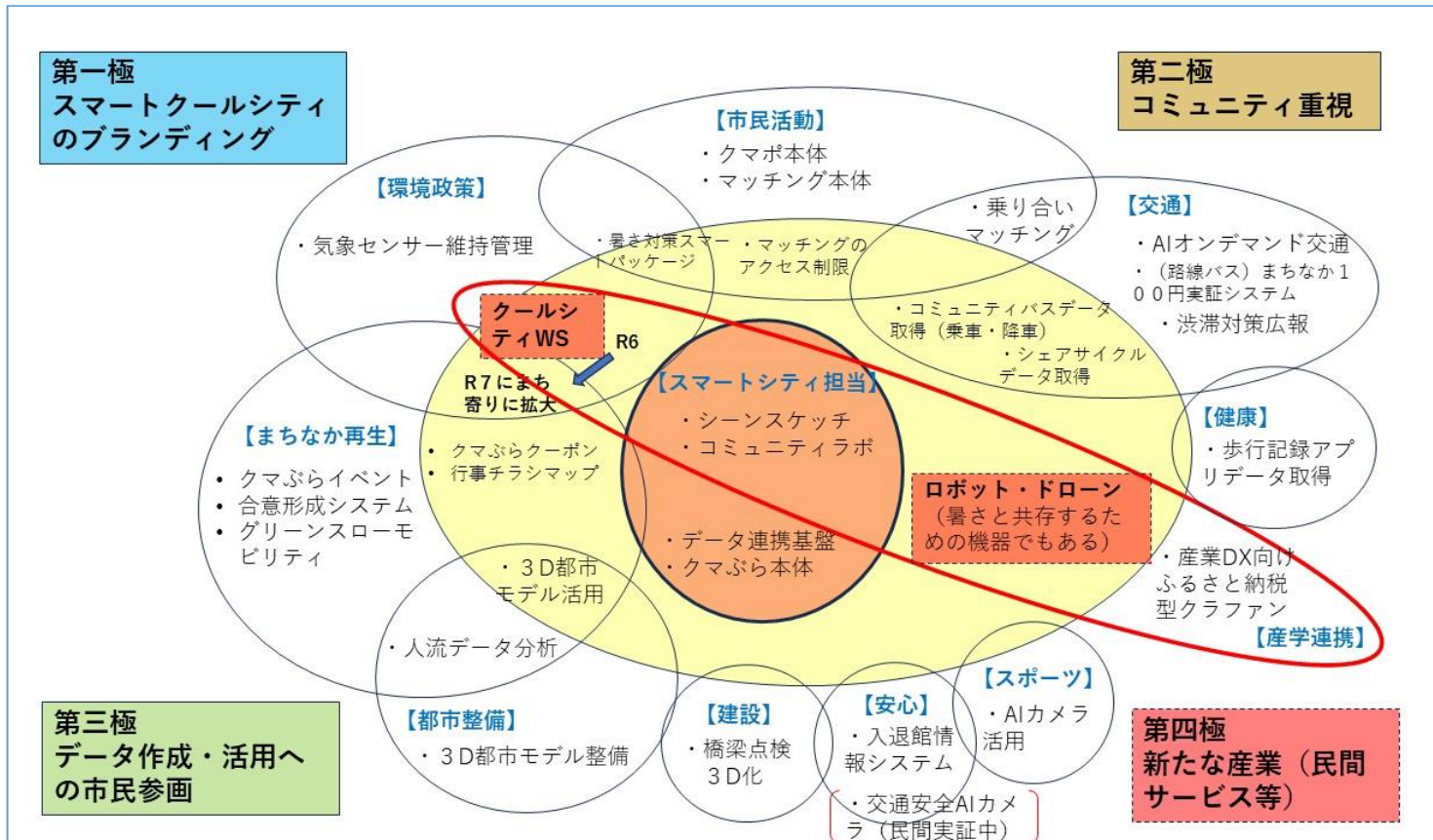
- ✓ デジタルと人の力を掛け合わせて、日本一と言われる暑さの中でも市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組む姿勢
- ✓ 年々厳しさを増す暑さへの対策について、熊谷スマートシティが生み出す効果的な暑さ対策の手法を、広く横展開していくビジョン
- ✓ 官民連携により特色あるまちづくりを推進する熊谷市の姿勢

エントリー動画公開中。右のURLから視聴できます。<https://youtu.be/C38xi-Yfg2I>



2. 熊谷スマートシティのR 6～R 7の取組イメージ（案）

2. 熊谷スマートシティのR 6～R 7の取組イメージ（案）



R 6～R 7に取り組む予定の分野（青字）と取組名称（黒字）の関係性のイメージ図。円の重なりは、分野にまたがる取組を指す。

【中心】

- ・スマートシティ担当が担うインフラや公民連携の中心施策

【取組分野】※上から右回り

- ・市民活動
- ・交通
- ・健康
- ・産学連携
- ・スポーツ
- ・安心
- ・建設
- ・都市整備
- ・まちなか再生
- ・環境政策

- クマぶら：LINEベースの都市ポータルアプリ。熊谷スマートシティの入り口。
- クマポ：コミュニティポイント。円に換算しない相互扶助型のデジタル地域通貨（電子マネー「クマPAY」とは別）
- マッチング：クマポの循環を促すため「クマポプレイス」の名称でスタート。人々の「できること」と「してほしいこと」をマッチングするアプリ

2. 熊谷スマートシティのR 6～R 7の取組イメージ（案）

10/29ベンダー連携調整会議

熊谷スマートシティ実行計画の取組分野別分類

データ利活用

タブローによる
PDS活用（ライセ
ンス購入）

暑さに対応し たまち

モビリティ

→交通ビジョン
（R7年3月予定）

スポーツ・ 健康

安全・安心 （インフラの 維持管理）

産業DX

→暑さ起業サポート
体制（デジタル実装
支えカタログ掲載）

人材・コミュ ニティ

→コミュニティラボ
（クラウド）公表

【1】複数年度課題

人流分析（R6、
R7）

人流委員会での
データ活用まち
づくりの整理

市民参画GISPF
【継続】

暑さ対策関係
【継続】

星川まちなか再
生

R7年1月より住民
合意形成システム
→情報提供上乘せ

スポ文渋滞迂回ルー
ト広報

AIオンデマンド交通
R6計画⇒R7実装

グリーンスローモビ
リティ
R6計画・R7実証

スポーツ×AI
カメラ
（研究先行、交
流後追型）

まちづくり情報発信
R7に行事を検討

橋梁点検効率化
【継続】

コミュニティラボ（産業面）
R7年度に産業面を加速する行事を検討中

（候補）ドローン・
生活支援ロボット

ふるさと納税型ク
ラファン

デジくまネクサス
（研究会）

リアルラボ（交
流広場）～子供
の居場所関係の地
元検討あり

【2】R6実装・定着

図書館マイナ認
証

コミバス降車データ

3D防災シミュレー
ション【継続】

地産地消Web

学びあいプラット
フォーム（講座・教
室のオンライン化）

【3】R7年度要望

イベントチラシ
マップ

思い出化・バッ
ジ

クマポ活用 暑さ
対策スマートパッ
ケージ自動化関係

コミュニティラ
ボ スマートクー
ルシティWS

シェアサイクル連携

まちなか路線バス活
用（100円補助）

駅発路線バス利便性
向上

コバトン
ALKOOマイ
レージ（歩
数）連携

交通安全カメラ

スマート農業支援
拡充

入退館管理シス
テム（子育て拠
点）

コミラボマネジ
メント支援

※枠なしは予算をかけずに取
り組んでいるもの

3. （参考資料）熊谷市のまちづくり

令和6年10月10日



熊谷市のまちづくり

データやシステムによる効率化・サービス向上から、
デジタルを活用した共創により新時代の産業確保・社会
課題解決を目指すステージへ

熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

熊谷市

～交通の結節点としての役割～

人口（世帯数）	191,224 人（90,492世帯）
面積	159.82 km ²

【令和6年8月1日現在】

熊谷まちづくり話題提供



(参考) 旧中山道
(熊谷宿)



新幹線等による広域アクセス

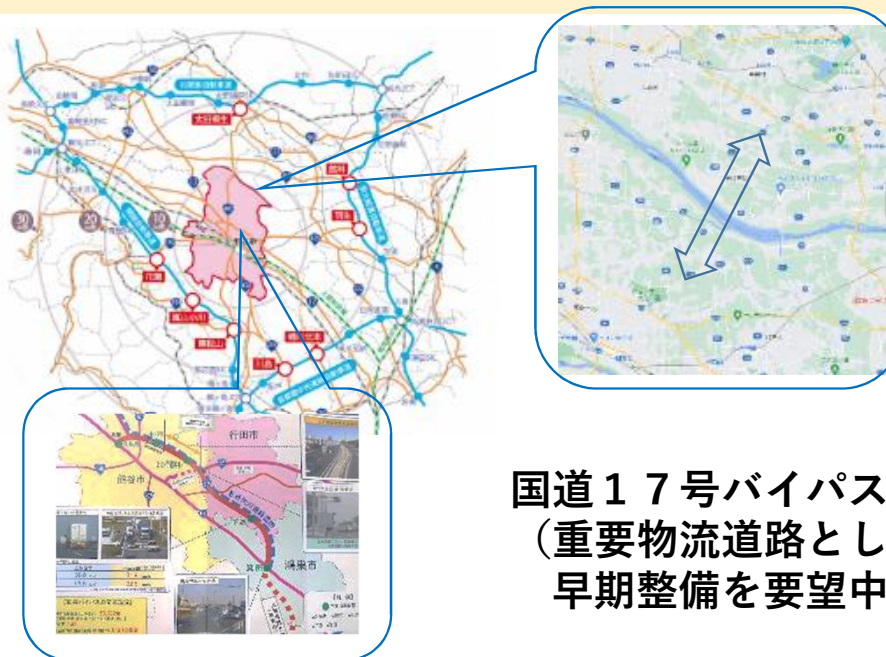


新幹線
による
通勤支援

■おいでよ、熊谷！新幹線らく賃通勤事業
対象者：40歳未満でR3.4.1以降に熊谷市に転入し、住宅を取得した方。（最長2年間補助）

■大好き熊谷！新幹線らく賃通勤事業
対象者：30歳未満でR3.4.1以降に新規に就職した方

道路アクセスの一層の向上の取組み



県北地域と群馬県・
栃木県を結ぶ新橋を
含めた
幹線道路整備
プロジェクト

国道17号バイパスのフル規格整備
(重要物流道路として位置づけ済み・
早期整備を要望中)

埼玉県北の拠点

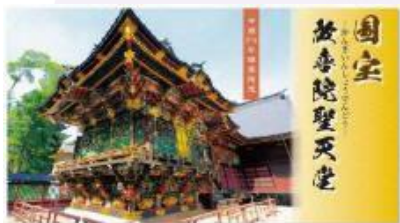
熊谷市

～豊かな歴史・水辺景観・農産物を発信するまちづくり～

熊谷まちづくり話題提供

観光交流拠点

聖天山周辺地区にふさわしい
門前町景観まちづくり



国宝

かんぎいんしょうでんどう
歓喜院聖天堂

都市拠点

まちなかの水辺空間を生かした
官民連携のまちづくり



星川夜市

毎月
第二土曜日の
夕刻に開催

新スポーツ拠点

荒川を生かしたまちづくり

市民体育館／荒川
公園／河川敷と、
熊谷駅南口の連携

日本さくら名所100選
熊谷桜堤



東京国立博物館蔵
埴輪 踊る人々



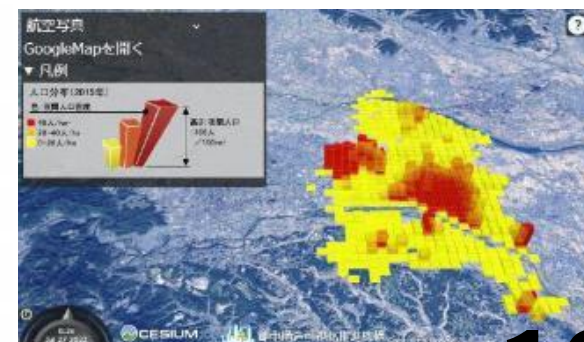
全国有数の小麦の生産地
小麦の里くまがや

産業拠点

道の駅「くまがや」
「日本を代表する“食”のテーマパーク」
整備



データ活用（人口密度の分布）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まち づくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

熊谷市が目指すべき新時代産業（案）の
検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

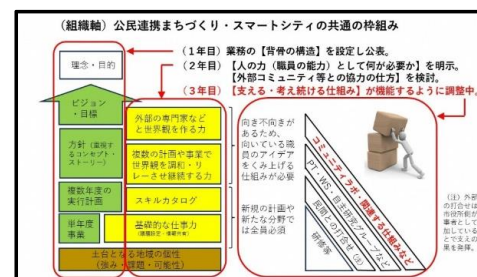
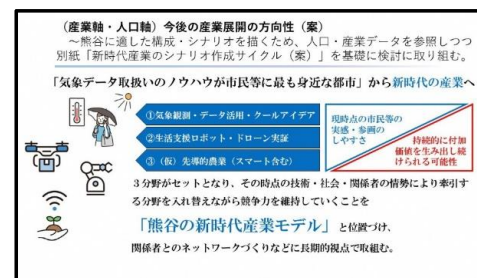
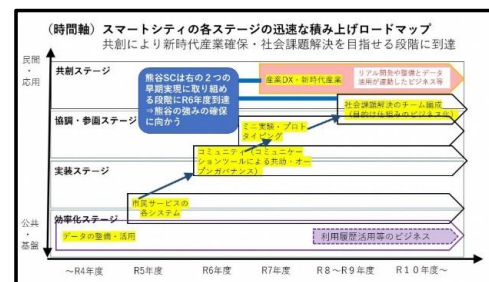
熊谷市のまちづくりに必要な要素



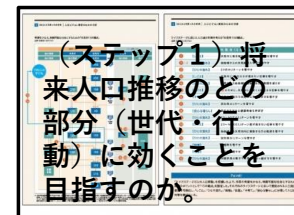
①操縦チームの意思
統一・スキル確保の
取組み。（組織軸）

③上昇気流を探す・作り出す取組み。
(産業軸・人口軸)

②地図を準備し、常時位置・方向・速度などを確認する仕組み。（空間軸・時間軸）



【新時代産業のシナリオ
作成サイクル（案）】



の産業別就業者数*と収益率(2012) 他市のサンプル

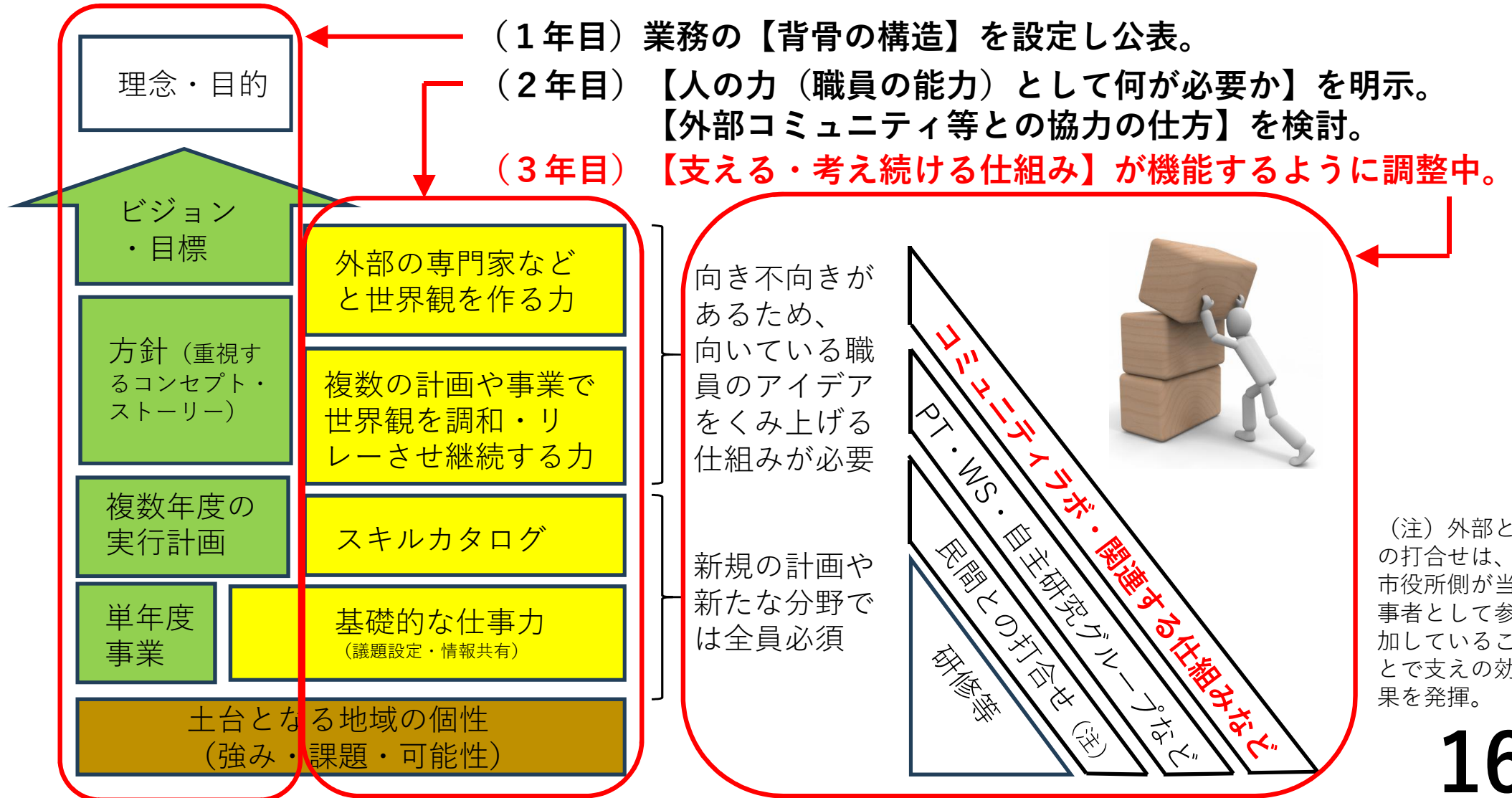
市平均の収益率を下回る農業と製造をてこに宿泊などと高収益の産業と連携して付加価値創出

(ステップ2) その産業の付加価値創出は経済的波及効果が見込めるか。

産業区分別の成長可能性

（ステップ3）付加価値創出シナリオが具体的に描けるか。

(組織軸) 公民連携まちづくり・スマートシティの共通の枠組み



(参考) 目指す方向性の共有 (公開) の例

熊谷スマートシティ宣言

～デジタルと人の力で、社会を前に進めていく～

やさしい未来



発見都市 熊谷

私たちが社会生活をおく中で、多くの仕組みにデジタル技術が組み込まれる時代になりました。これらは益になくはならない仕組みで、全ての世代が、その恩恵を受けています。

熊谷市は、この変化の激しい時代の中で、地域社会を持続させ発展させるために、市民と共にまちの未来をつくる仕組みを考え続けてきました。その一つの手始めとして進めてきた、デジタル技術やデータを活用した多くの仕組みが、今、本格的に動き出す時を迎えています。

これらの仕組みは、私たちの暮らしや人生を豊かにするものでなければなりません。その豊かさをつくるために、熊谷市では習得ひとりひとり、が「えらべる」「つくりだせる」という環境を整えています。それは熊谷市を、新しい「発見」が生まれ続けるまちに変えたいという願いを込めています。

いつの時代も、豊かなまちをつくるための視点は、このまちで暮らす人、このまちを愛してくれる人たちの思いです。それらを守りながら、熊谷市に関わる全ての世代と共に未来をつくるためには、デジタル技術を活用して、「つなげる」「わかりあう」という輪を広げていく必要があります。

それを推進する力は、私たち熊谷市がこれまで「スポーツのまち」として培ってきた結束力と情熱であり、デジタル技術の活用でも新たな価値を生み出す強さとなることを信じています。

熊谷市が描く未来は、デジタル技術を活用し、誰もが自律的に幸せを追い求めることのできる未来です。熊谷市は、この未来に向けた思いを「やさしい未来発見まち」という言葉に込めました。

私たちだからこその得意な取組を、デジタルの分野でも発揮する。

熊谷市は、デジタルと人の力で、社会を前に進めていく「熊谷スマートシティ」の実現に向けて取り組むことを、ここに宣言します。

令和5年7月4日

熊谷市長

小林 哲也



**KUMAGAYA
SMARTCITY**



(PDF直結)

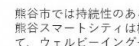
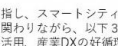
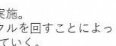
熊谷スマートシティ
トータルブランディング方針
Ver.2.0

熊谷市が行うスマートシティ政策の
ブランドアイデンティティの統一に向けて

熊谷スマートシティのトータルブランディング方針

【デザイン1】 やさしい未来発見に向けた3つの好循環

熊谷市では持続性のある地域を目指し、スマートシティの政策を実施。
熊谷スマートシティは様々な人が関わりながら、以下3つのサイクルを回すことによ
て、ウェルビーイングや、データ活用、産業DXの好循環をつくっていく。

熊谷市の目指す 持続可能な地域をつくるエコシステム	やさしい未来発見都市の 成長サイクル	熊谷市の目指す データ活用サイクル
 (地域の未来発見)	 (生活の未来発見)	 (人材の未来発見)

熊谷スマートシティスキルカタログ

持続サイクルの上で必要な9つのスキル・視点

市長公室政策調査課スマートシティ担当

KUMAGAYA SMARTCITY

実践している内容を中心に構成
と留意点を説明
となるような考え方や、ついでやっ
てしまいがちな失

① スマートシティにおいて【目指すべき価値の調整・共有】を行うスキル

③ 隔りやすい失敗事例

1. 目的や関係者の範囲などを明確にしたまま、個別事項の検討・協議
によってしまった結果、参加者の同じイメージを共有できていない
中でスタートしてしまう。
2. 打合せで出たアイデアなどを、ホワイトボードなどにアウトプット
せず言葉で述べてしまった結果、認識の共有が不十分となるほか、
上流への報告の際も具体性を欠き、伝わらない。

新しい政策の提案者が生の声を聴く場の確保が一番大事

KUMAGAYA
SMARTCITY



(PDF直結)



(空間軸①) まちなかにおけるコミュニティラボと各種まちづくりの連動

コミュニティラボのある街

○スマートシティ関係の打合せ等を複数の会場にWeb中継する「コミラボオープン会議形式」に組み。 (リアルラボ)
○併行して、Web上に意見交換用のビジネスチャットアプリを常設。 (クラウドラボ)

まちなか交流広場

(実験空間としての星川エリアの活用を検討)

仮称：新プレイス
(熊谷プレイス跡)

(仮) まちなかウェルカム交通ビジョン

星川将来ビジョン



○デジタル手法で情報発信・意見交換を行いつつ、更新を予定。

まちなか再生未来ビジョン

○「駅からまちににぎわいを広げる」「まちを心地よく歩く・移動する」「まちなかで心地よく憩う」の方針を提示。

(参考) 「まちなかウェルカム交通ビジョン」のイメージ (意見交換用未定稿)

北部交流拠点を見据えた各種交通手段とまちづくりの連動 (熊谷駅 (①)、秩父鉄道熊谷駅 (②)、市営本町駐車場 (③) 等)

星川将来ビジョン Ver1.0 (R6年3月)

＋
バス路線の集散ポイントへの人流を活性化

まちなかウェルカム交通ビジョン (R7年度)

外周について公共交通で人の流れを確保しつつ、エリア内を徒歩・自転車・モビリティ優先とする構想 (未定)
→R7クロスシンボルロード行事でキックオフ (未定)

R6年度 (秩父鉄道) 上熊谷駅・鎌倉町エリアと星溪園との連動の可能性検討 (未定)

R7年度～北部交流拠点基本構想を受け、モビリティ導入検討エリアとして位置づけ (未定)

R6年度 中央公園利活用のWS/社会実験
→市役所通りの道路空間利活用についてR7クロスシンボルロード行事における提言を検討 (未定)

北部交流拠点
・R6年度基本構想策定
・(仮) R14年度竣工

R7年度 まちなか行事と連動した乗継機能の発揮のための料金調整に関する条例改正 (予定)

R7年度～ 公共交通利活用促進と連動した100円路線企画 (未定)

まちなかで心地よく憩える街

星溪園・水辺交流場等
社会実験

市有物件暫定利用
民間施設の公共的活用

(参考) 「まちなかウェルカム交通ビジョン」のイメージ（検討中）

北部交流拠点を見据えた各種交通手段とまちづくりの連携（熊谷駅（①）、秩父鉄道上熊谷駅（②）、市営本町駐車場（③）等）

星川将来ビジョン
Ver1.0（R6年3月）

+

バス路線の集散ポイント
への人流を活性化

まちなかウェルカム交通ビジョン（R7年度）

外周について公共交通で人の
流れを確保しつつ、エリア内
を徒歩・自転車・モビリティ
優先とする構想（未定）
→R7クロスシンボルロード行
事でキックオフ（未定）

R6年度（秩父鉄道）上熊谷駅・鎌倉町エリアと星溪園との連動の可能性検討（未定）

R7年度～北部交流拠点
基本構想を受け、モビリ
ティ導入検討エリアとし
て位置づけ（未定）

R6年度 中央公園利
活用のWS／社会実験
→市役所通りの道路空間利
活用についてR7クロスシン
ボルロード行事における提
言を検討（未定）

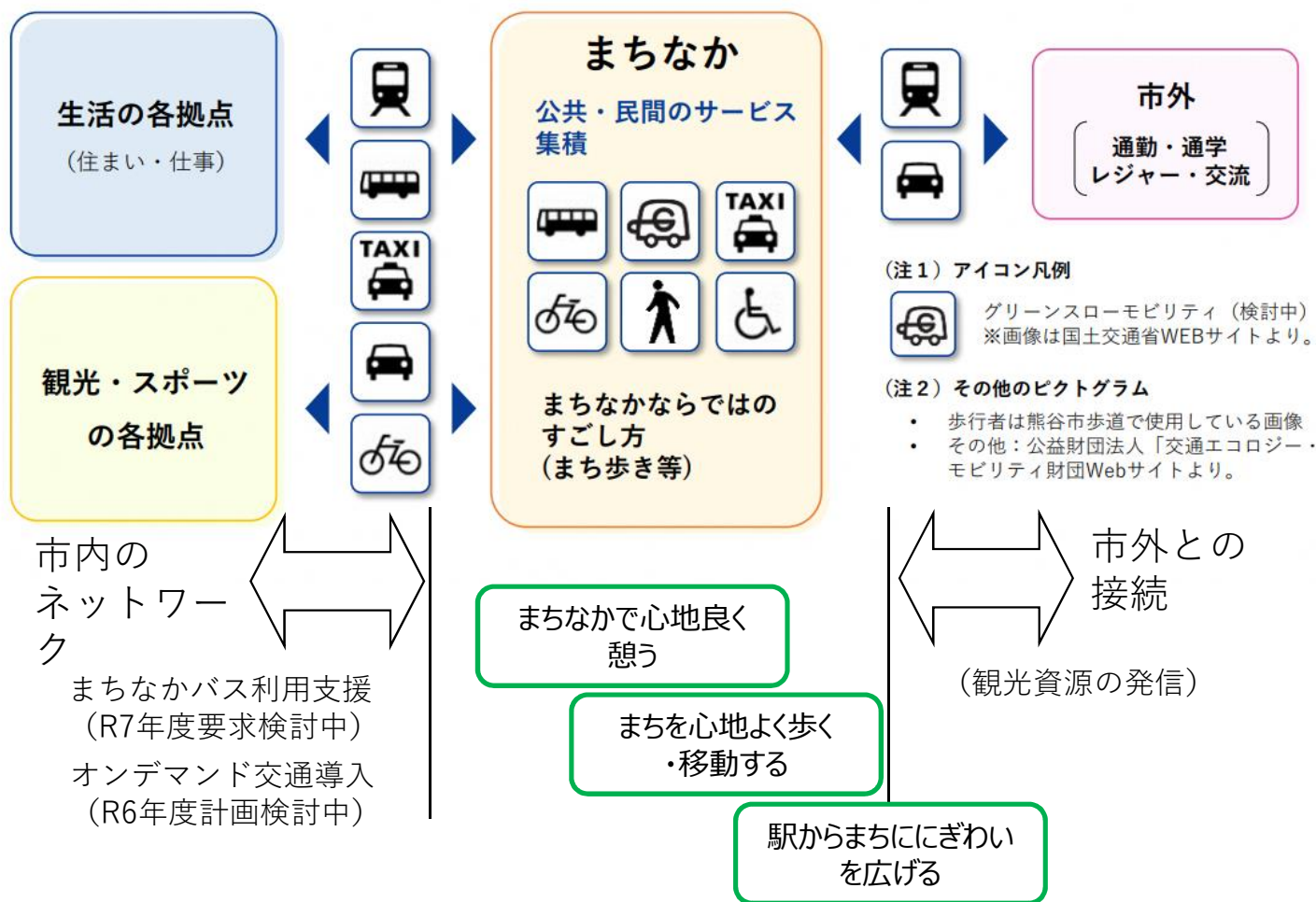
北部交流拠点

- ・ R6年度基本構想策定
- ・ (仮) R14年度竣工

R7年度～ 公共交通
利活用促進と連動し
た100円路線企画
(未定)

R7年度 まちなか行事
と連動した乗継機能の発
揮のための料金調整に関
する条例改正（予定）

まちなかの交通機能の発揮とまちづくりの連動（まちなかウェルカム）



■データ活用によるまちなかウェルカムのストーリー（2）

(まちなかでの体験創造・実証の場の検討)



熊谷市公民連携まちづくり実践方針

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/keikaku/matidukuri/kouminrenkei.html>



凡例：



出典：熊谷まちなか再生未来ビジョン 将来像実現のポイント

<https://kumagayasaisei.wixsite.com/mysite/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B>



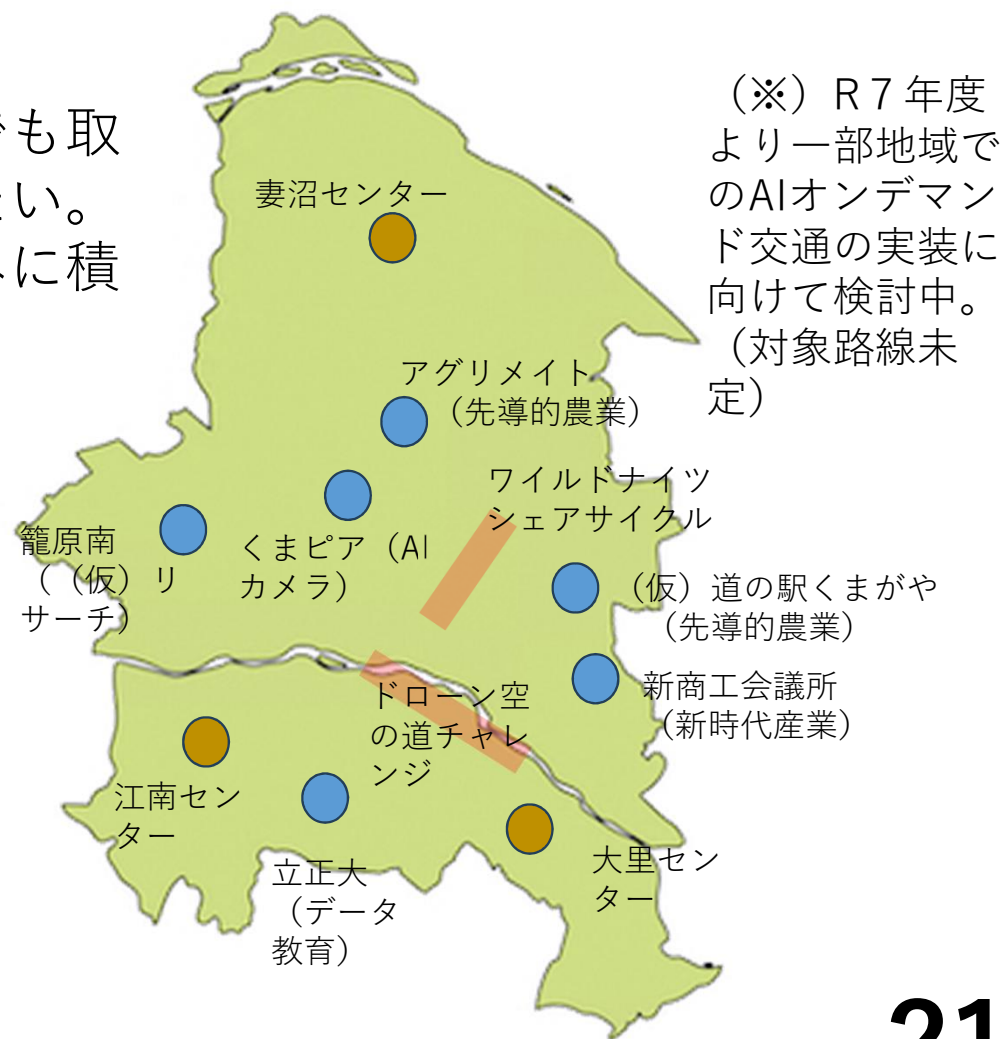
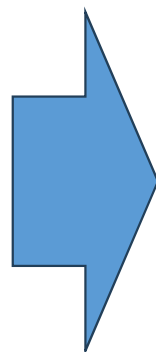
(空間軸②) 市全体での地域密着型スマートシティ政策の構築 (検討中)

【目的】

- ・できるだけ多くの市民に「自分の地域でも取組が進んでいる」意識を持っていただきたい。
- ・外部からスマート技術等の新たな取組みに積極的な都市に見えるようにしていきたい。



ウェルビーイングビジョンにおける地域密着型スマートシティ政策のイメージ



(参考) ウェルビーイングビジョンマップ (R6年3月公表)



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まち
づくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

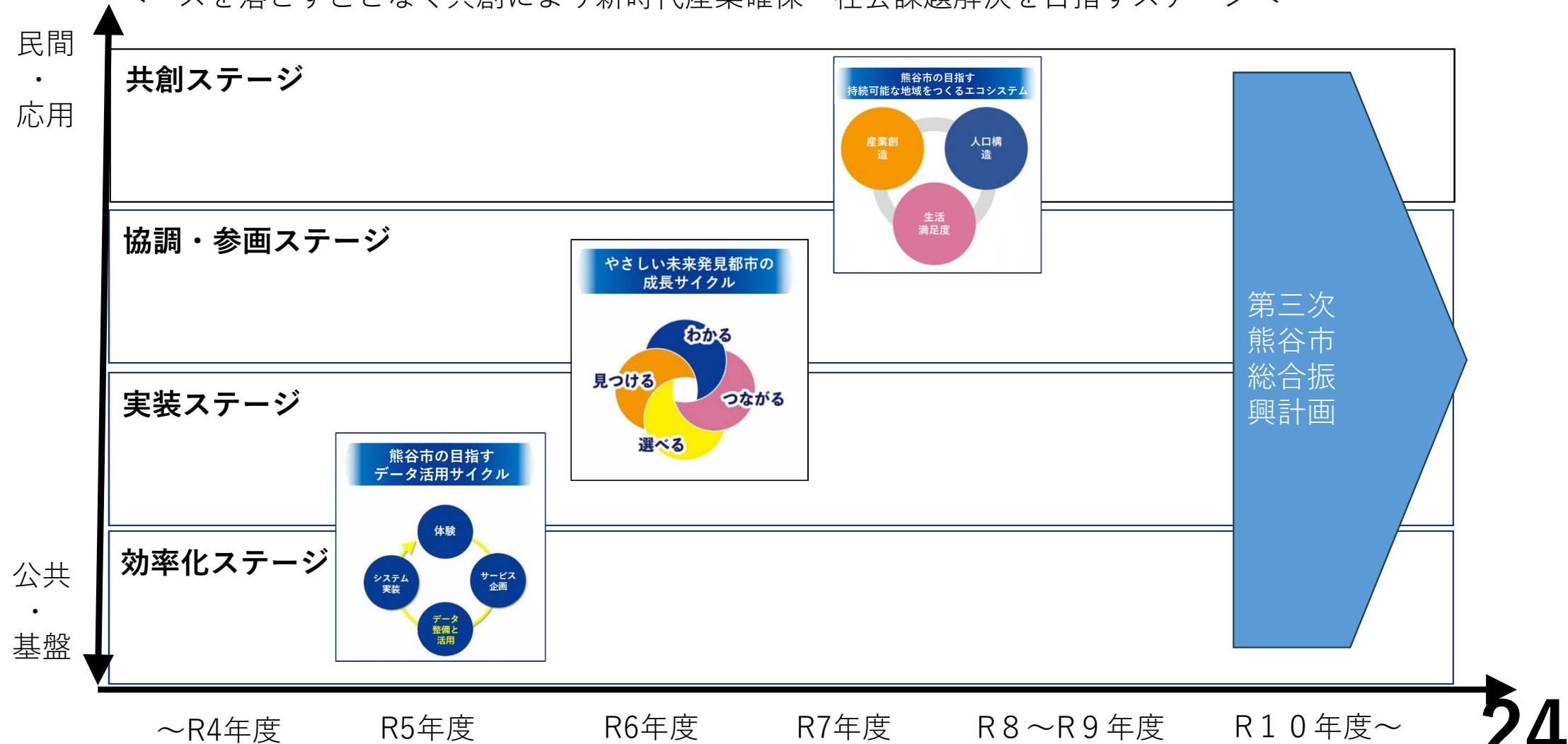
コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の
検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

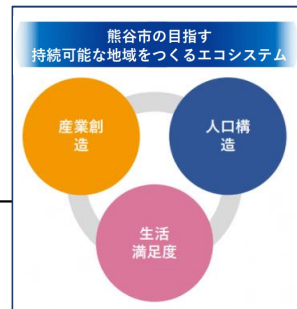
(時間軸) スマートシティの各ステージの迅速な積み上げロードマップ

ペースを落とすことなく共創により新時代産業確保・社会課題解決を目指すステージへ



(時間軸) スマートシティの各ステージの迅速な積み上げロードマップ

ペースを落とすことなく共創により新時代産業確保・社会課題解決を目指すステージへ



民間・応用

共創ステージ

協調・参画ステージ

実装ステージ

デジタル田園都市国家構想交付金（タイプ2）採択

市民サービスの各システム

効率化ステージ

データの整備・活用

ミニ実験・プロトタイプ

コミュニティ（コミュニケーションツールによる共助・オープンガバナンス）

やさしい未来発見都市の成長サイクル



熊谷市の目指すデータ活用サイクル



利用履歴活用等のビジネス

～R4年度

R5年度

R6年度

R7年度

R8～R9年度

R10年度～

公共・基盤

(時間軸) スマートシティの各ステージの迅速な積み上げロードマップ

ペースを落とすことなく共創により新時代産業確保・社会課題解決を目指すステージへ



民間・応用

共創ステージ

熊谷SCは右の2つの早期実現に取り組める段階にR6年度到達⇒熊谷の強みの確保に向かう

産業DX・新時代産業

リアル開発や整備とデータ活用が連動したビジネス等

協調・参画ステージ

社会課題解決のチーム編成
(目的は仕組みのビジネス化)

ミニ実験・プロトタイプ

コミュニティ(コミュニケーションツールによる共助・オープンガバナンス)

デジタル田園都市国家構想交付金(タイプ2)採択

実装ステージ



市民サービスの各システム



効率化ステージ

データの整備・活用

利用履歴活用等のビジネス

公共・基盤

～R4年度

R5年度

R6年度

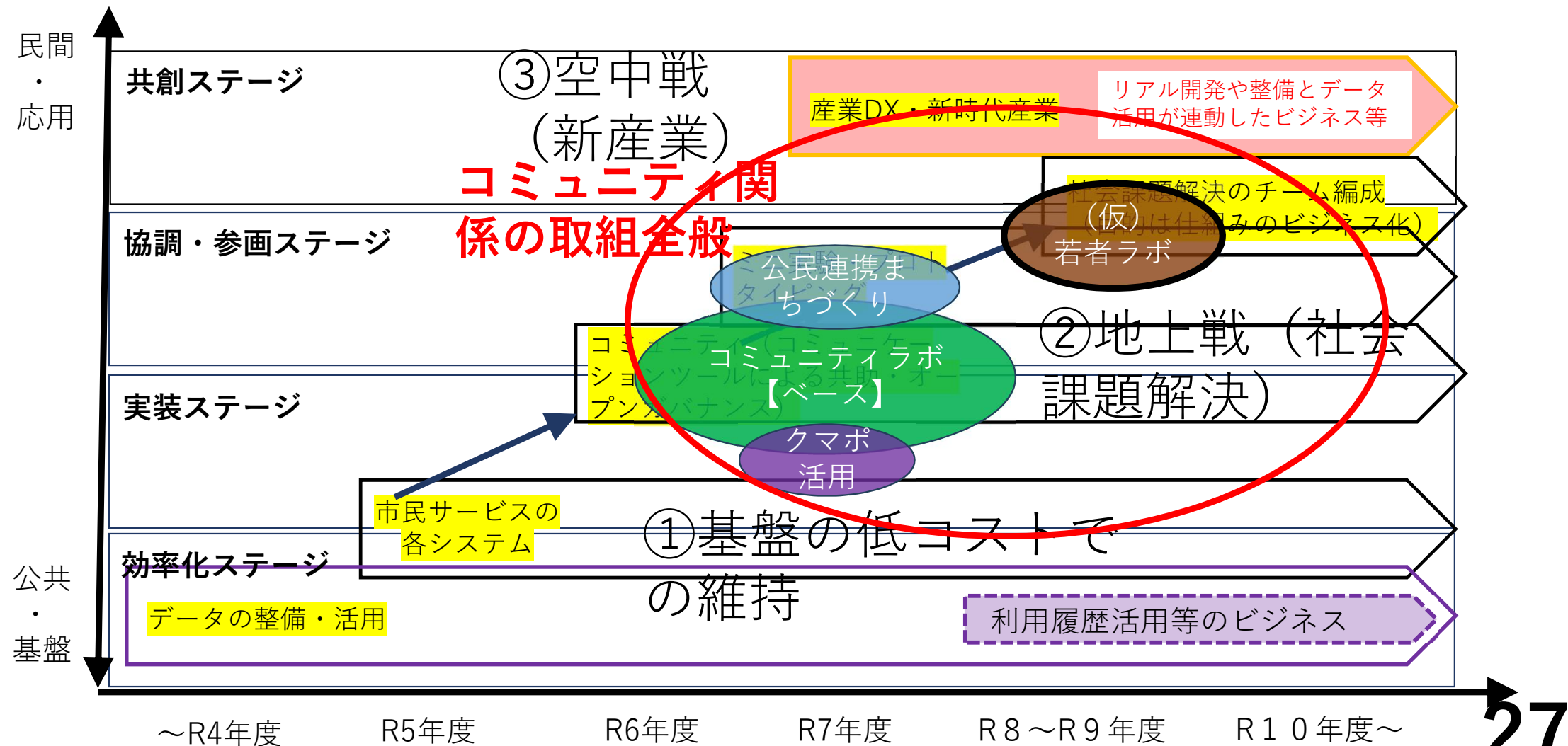
R7年度

R8～R9年度

R10年度～

(時間軸) 共創を加速するための分類と対応するコミュニティの仕組み・システム

①基盤の低コストでの維持、②地上戦（社会課題解決）、③空中戦（新産業）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まち
づくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

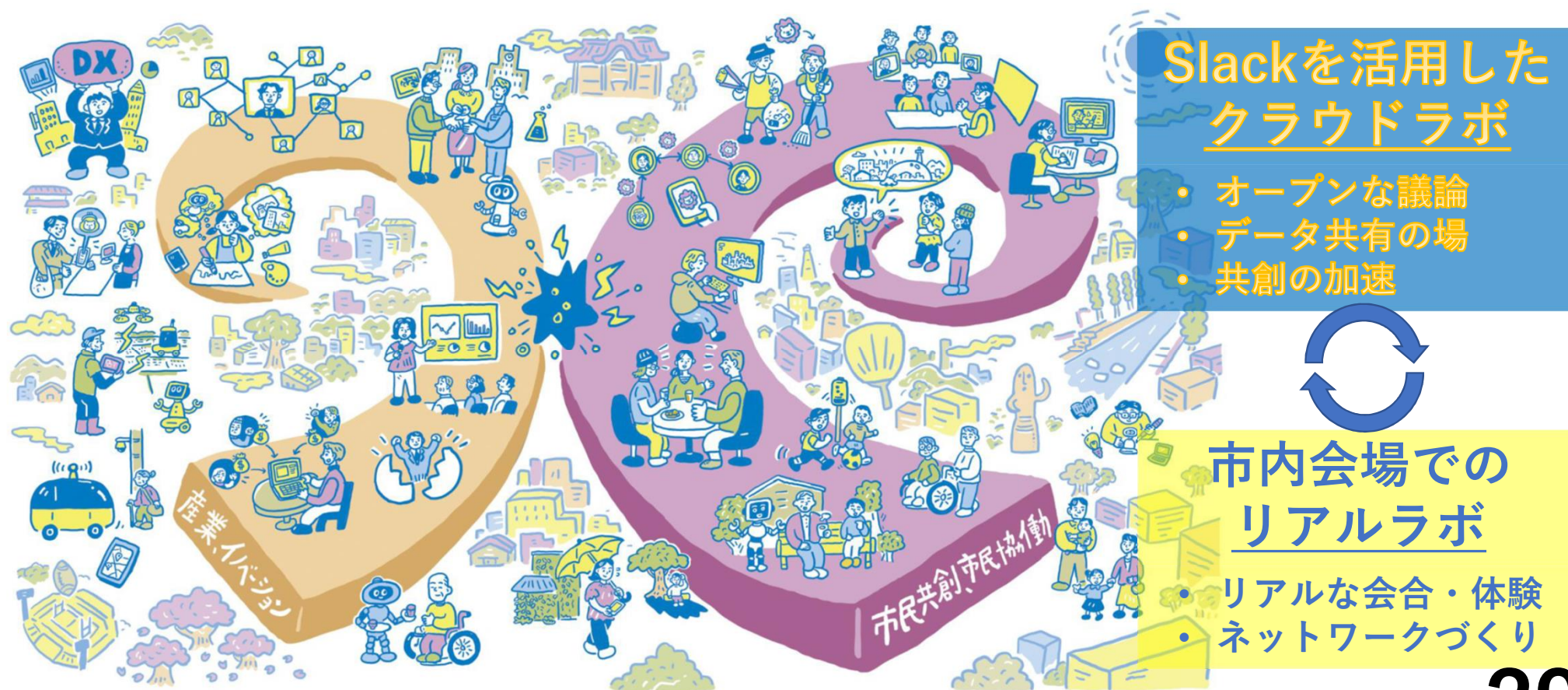
コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の
検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

(参考) 「コミュニティラボ」を核とした産業振興・共創

民間団体と市役所の連携によりウェブ上とリアル両面で運営



コミュニティラボ コンセプトビジュアル

【コミラボ】クラウドラボの各チャンネル主担当課（案）

まちづくりビジョン	商業観光課・都市計画課（まちなか・まちづくりPT）
クマポ・プレイス	市民活動推進課
ドローン・ロボット	企業活動支援課
	（詳細は別紙「ドローン・ロボット・インフラ3D画像会議」参照）
シーンスケッチ	政策調査課
スマートクールシティ	環境政策課（暑さ対策）・政策調査課（システム・データ連携）
市民参画型GIS	政策調査課（WebGIS全般）・都市計画課（3D都市モデル）

自分らしく暮らせる「コミュニティラボ」 ～やさしい未来発見都市を全ての市民へ～

知るを楽しもう

…チャンネル「運営に関するお知らせ」

リアルラボ

まちなかの複数の場所を体験の場「リアルラボ」として不定期オープン・公開コンテンツ（Web講座の視聴等）を提供。

・R7年1月～ 皇川エリアをモデルにまちづくり意見交換システムの実証を開始予定。

準備中

クラウドラボ

ビジネスチャットを活用した交流の場から全てのチャンネルへ！

双方向コンテンツ提供

…市民館をつないだ学びあい企画を提供。

・R6年8月 小学生母体入門をWeb開催。

（グループのWeb利用やコンテンツ視聴等にご利用ください）
熊谷市・モバイルルーターの無料貸出（公民館など）

つながろう

…チャンネル「まちなかビジョン編集部」

まちづくり参画

・R6年7月～ 市のビジョン等に基づく公民連携のタウンマネジメント活動に市が参加証明書を発行。

クマポが巡る「やさしい未来」を探そう

「してはいいこと」と「やれること」がつながりやすくなるアイデアを発信

・R6年10月～ クマポ利用者向けのマッチングサイト「リンタル」を実装予定。

創り出そう

…チャンネル「ロボット・ドローン研究所」

空の道

秋晴れ日本一の熊谷の空に新しい「空の道」を

ロボコンジム

（参考）小中学生のロボットプログラミングコンテスト（WRO JAPAN群馬地区予選大会公式サイト）

（※）本資料のイラストの作成には、画像生成AIアプリ「Adobe Firefly」を使用しています。

夢を形にする「コミュニティラボ」 ～やさしい未来発見都市を全ての市民へ～

未来を形に

…チャンネル「ロボット・ドローン研究所」

空の道

秋晴れ日本一の熊谷の空に新しい「空の道」を

ロボコンジム

（参考）小中学生のロボットプログラミングコンテスト（WRO JAPAN群馬地区予選大会公式サイト）

夢を描こう

…チャンネル「未来スケッチのアトリエ」

シーンスケッチコンテスト

年代別に応募可能・SF部門あり・OG可

スマートクールシティへようこそ

（デジタルデザイン企画）
スマートクールシティ

データで示そう

…チャンネル「デジタル地図を作ろう・使おう」

タブレットで書き込み

小学生から利用可能な「カキコマップ」をスマートクールシティで活用

Web(GIS)で共有

（参考）市内一部高校の「総合的な探究の時間」でも活用（熊谷西高Webサイト）

（※）本資料のイラストの作成には、画像生成AIアプリ「Adobe Firefly」を使用しています。

30

【市民向け解説たたき台】市役所Webサイトと外部の追加システムの関係（案1）

～双方向性のあるシステムによる「企画・振り返り」と「実行」のサイクルの加速を目指す。

【1】市役所Webサイト：特に注記がなくとも市役所が記載内容に責任を持つ範囲

市役所トップページ

インデックスサイト（or サブサイト）

（※）熊谷市役所においては掲載情報の分類などを工夫したものをインデックスサイト、特にデザインしたものをサブサイトと呼ぶ。（サブサイトは予算要求が必要。）

（追加システム等があれば）追加システム等と本サイトの関係の解説（本シート相当）

新着情報（主に以下の情報の追加・更新等）

取組みの基礎となるビジョン・方針等

関連情報

（※）他部署の取組みについても極力リンクを張る。自部署の情報を自動的に優先するのではなく、市役所全体としての構想を市民に知ってもらうことを優先。

WS・シンポジウム等の募集情報や開催記録、報告書等

（アーカイブ部分）

【2】追加システム（SCとしての呼称は「Webコモンスペース」）：市民の意見交換を促す範囲

【職員による書き込みの取扱い（案）】

（1）市民の意見交換を促すために職員が記入する場合があるが、市役所のサイトに掲載されている内容（【1】）を越える内容は、「個人の意見であり市役所を代表するものではない」取扱いであることを承知の上でご参加いただく。

（2）職員は、政治的目的をもってする政治的行為等の法律上の違反、市役所内で保護すべきと既定されている予算等の情報に触れること、また追加システムへの参加上求められるマナー違反等（原則として規約等に明記されているもの）を行わないように留意して書き込みを行う。

書き込み内容はだまかに以下の2グループに区別される想定。
（民主導型はモデレーターの存在が重要となる見込み。）

【公民連携型】企画・振り返りフェイズ

ビジョン等に沿って市役所の予算・事務等の関与がなされている取組み（補助を受けて民間が実施している内容を含む）

→ アーカイブ部分を極力有効に活用。

中間領域（移行中等）

【民主導型】企画・振り返りフェイズ

ビジョン等に沿っている内容のうち、市役所の予算・事務等の関与がない取組み

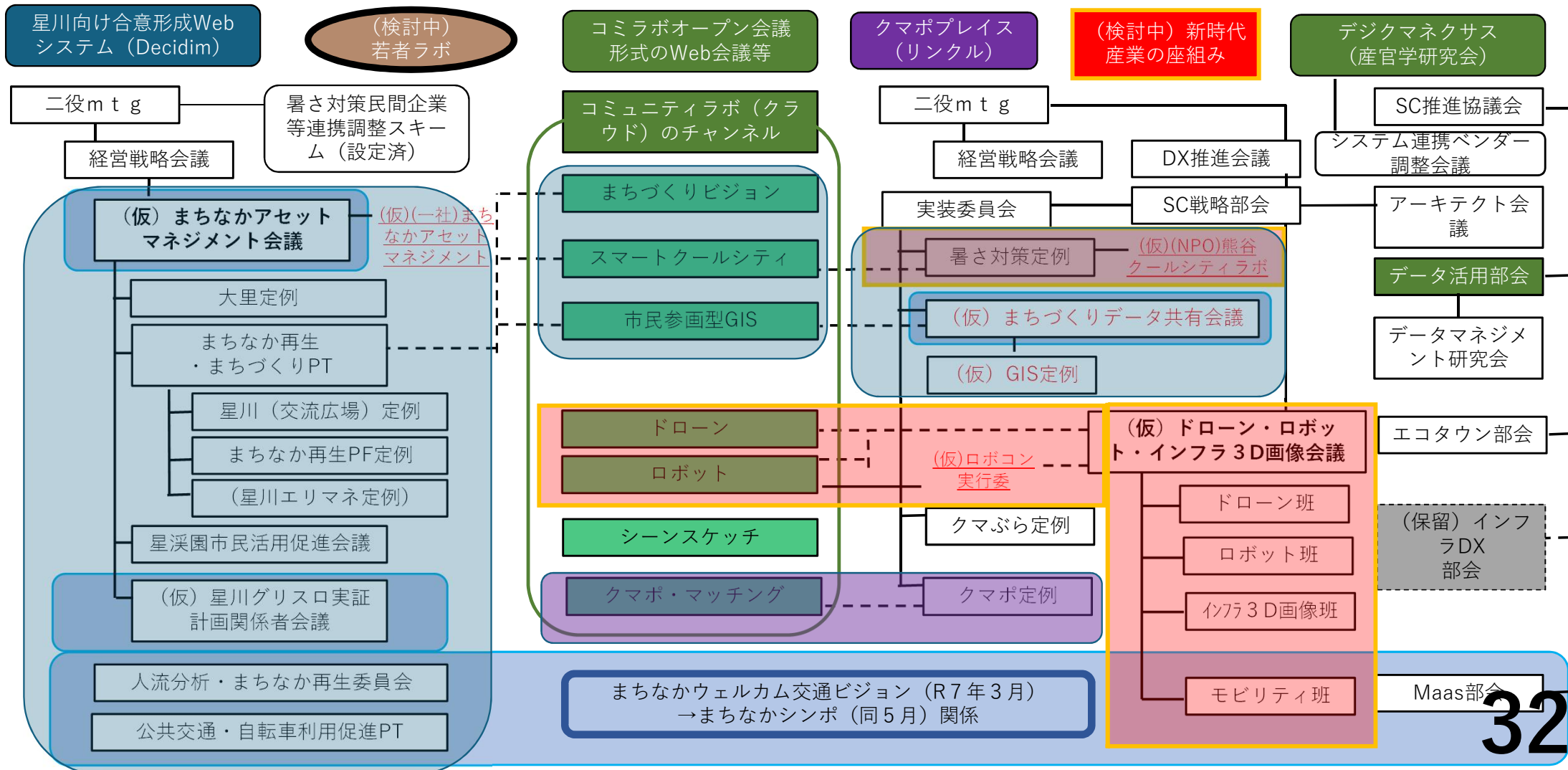
（例）・花活
・ロボコン 等

公民連携型の実行フェイズ

民主導型の実行フェイズ

【参考】（組織軸）コミュニティ関係の取組と公民連携に関わる会議体等の関係（案）

（凡例） Web等により市民にオープンになる会議（予定） 交通ビジョン、R7年5月クロシンシンポ関係

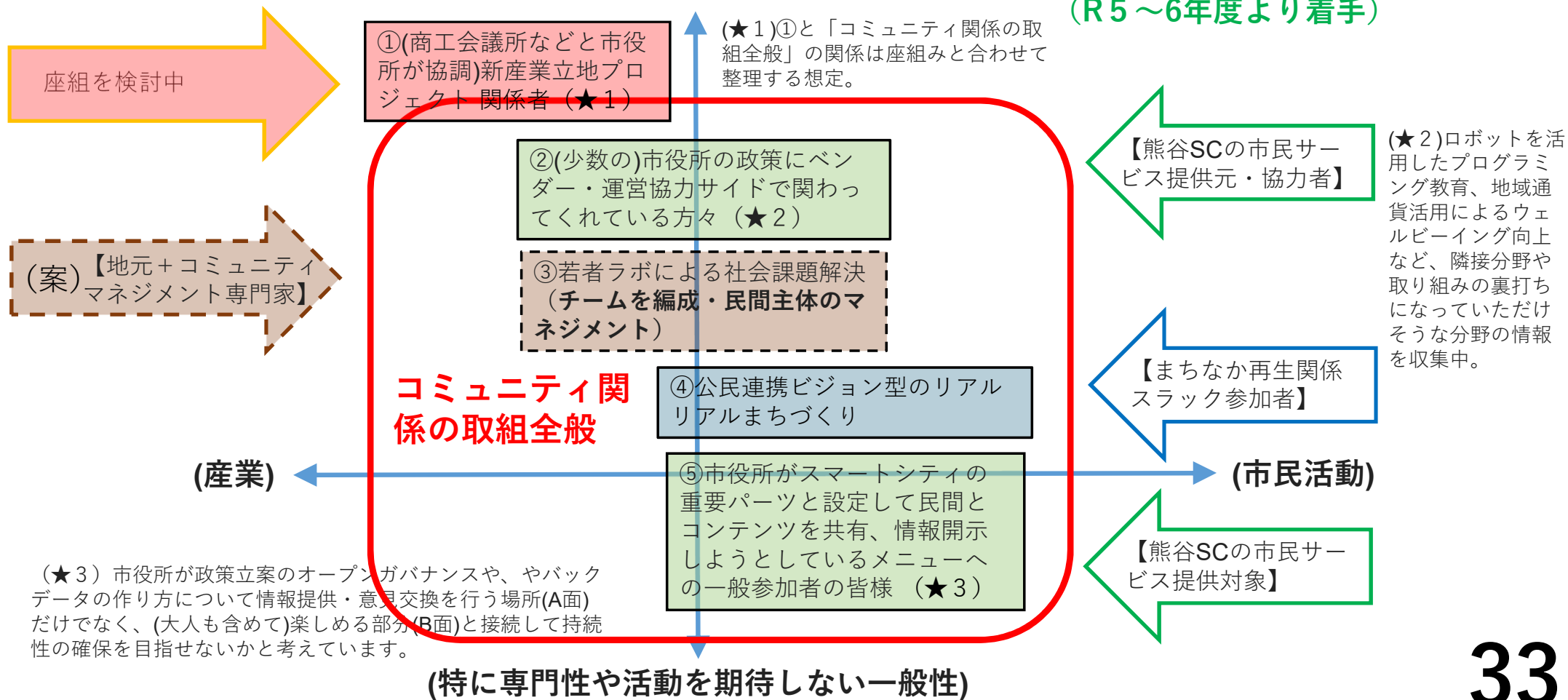


(人材軸) コミュニティラボの閲覧・参加者の想定と獲得方針 (案)

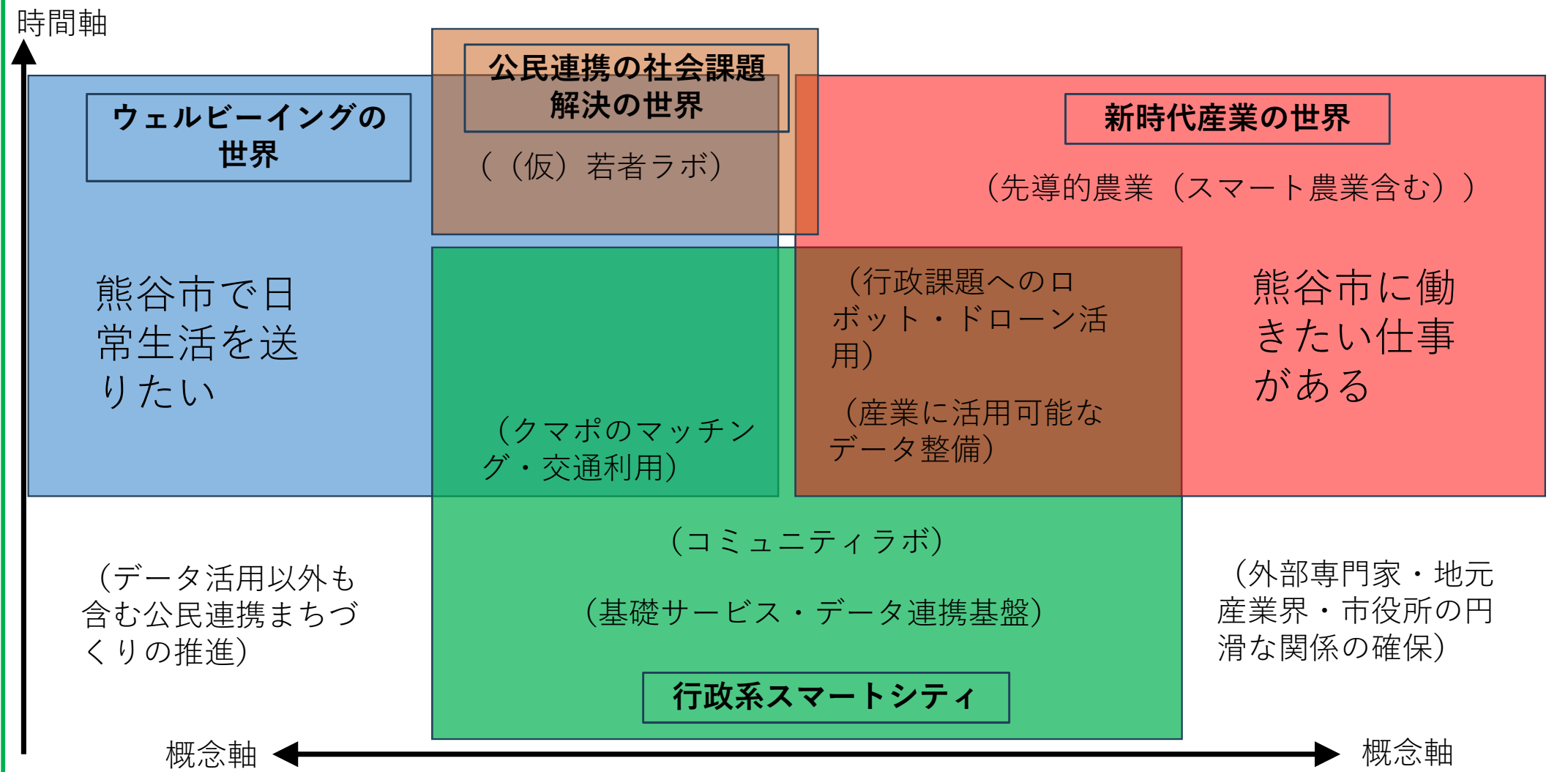
R7年度新規 (検討中)

(専門性・具体の活動を期待)

既存のSCの取組みの延長上
(R5～6年度より着手)



熊谷スマートシティの全体イメージ（R6年10月時点）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まち
づくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

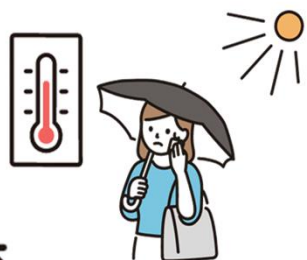
熊谷市を目指すべき新時代産業（案）の
検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

（産業軸・人口軸）新時代の産業への展開の方向性（案）

～熊谷に適した構成・シナリオを描くため、人口・産業データを参照しつつ別紙「新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）」を基礎に検討に取り組む。

「気象データ取扱いのノウハウが市民等に最も身近な都市」から新時代の産業へ



①気象観測・データ活用・クールアイデア

②生活支援ロボット・ドローン実証

③（仮）先導的農業（スマート含む）

現時点の市民等の
実感・参画の
しやすさ

持続的に付加
価値を生み出し続
けられる可能性

3分野がセットとなり、その時点の技術・社会・関係者の情勢により牽引する分野を入れ替えながら競争力を維持していくことを

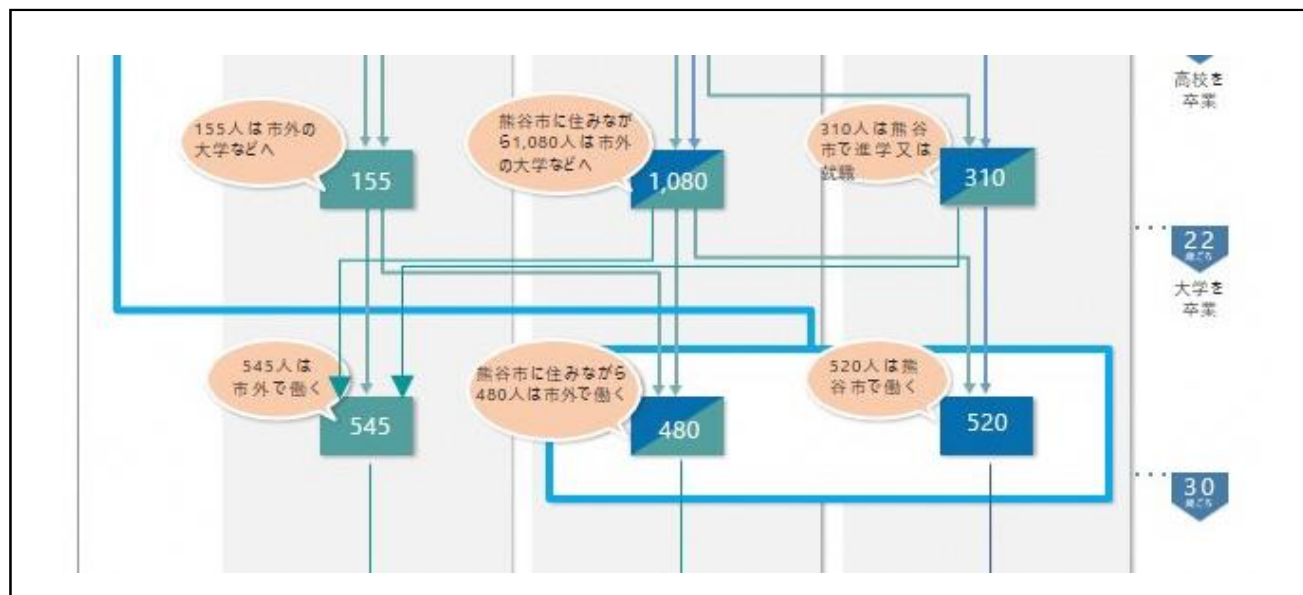
「熊谷の新時代産業モデル」と位置づけ、

関係者とのネットワークづくりなどに長期的視点で取り組む。

（ステップ1）将来人口推移のどの部分（世代・行動）に効くことを目指すのか。【熊谷市について整理中】

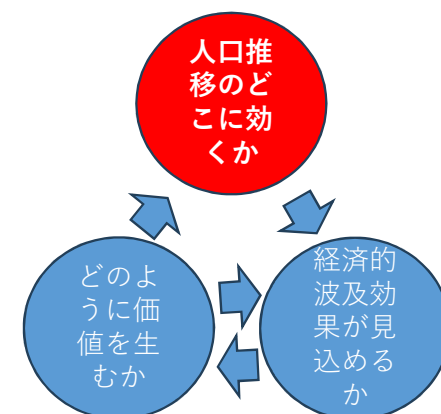
■熊谷市の「ライフステージごとの人口移動」

※1,545人（令和2年度～令和3年度に熊谷市内の中学校を卒業する一学年あたり人数）を基準とした人口移動のおおよその推計



資料：第2期熊谷市人口ビジョン・総合戦略、令和2年度版 熊谷市統計書、熊谷市年齢別・男女別人口、RESAS、総務省による統計ダッシュボード、熊谷市教育委員会提供資料、埼玉県教育委員会高校卒業生の進路状況調査、立正大学HP、高等看護学院HP、農業大学校HP、アルスココンピュータ専門学校HP、看護専門学校HP、栄養専門学校HP、調理師専門学校HP、製菓専門学校HP、熊谷高校HP、熊谷工業高校HP、熊谷商業高校HP、熊谷女子高校HP、熊谷西高校HP、熊谷農業高校HP、妻沼高校HP

【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



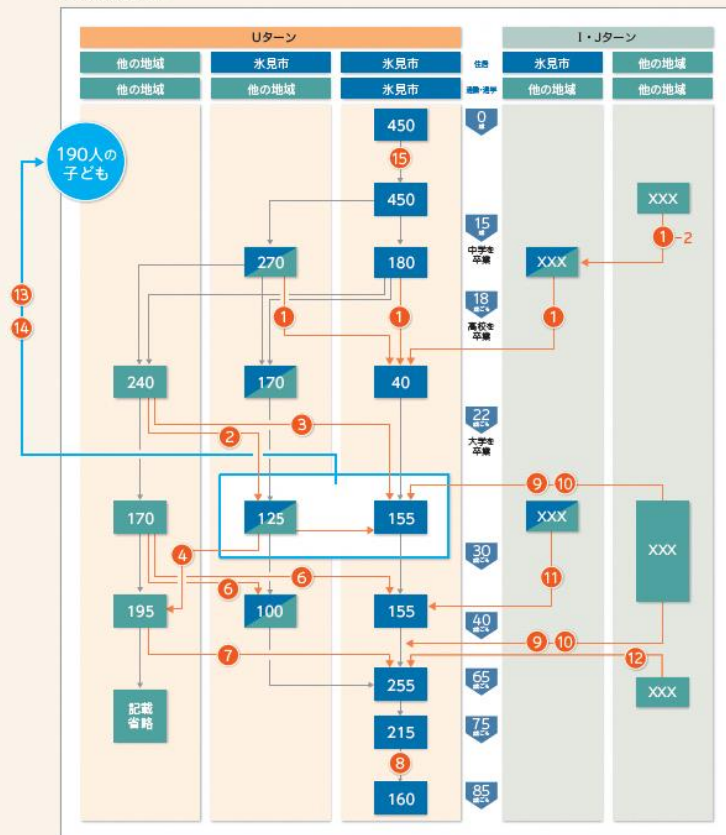
（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

（ステップ1）将来人口推移のどの部分（世代・行動）に効くことを目指すのか。

他市のサンプル

1 RESASを使った分析例 | 人口ビジョン策定のための分析

希望をかなえ、持続可能な社会にするための「氷見市15の観点」
出典：氷見市人口ビジョン



※ 氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、RESAS「富山県氷見市 年齢別転入・転出の動向分析」55頁～H22年国勢調査、および統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口及び「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、RESAS経由で取得した「人口動態調査」、公益財団法人 生命情報文化センター資料（アンケート調査結果）の集計と氷見市教育委員会資料（平成26年7月）、総務省「人口動態調査（平成26年7月）」、国立社会保険・人口問題研究所の氷見市の生涯、生涯基本台帳のH26出生数等をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を算出。数値については、一桁目を5か0とするレベルでの整理を要す。

1 RESASを使った分析例 | 人口ビジョン策定のための分析

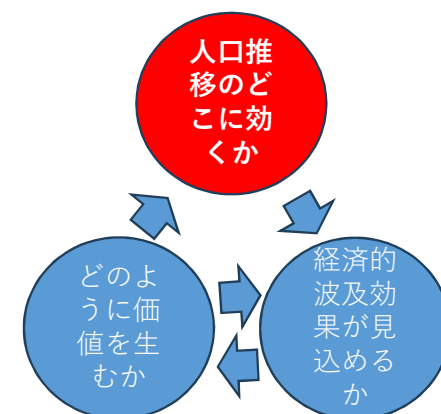
ライフステージに応じた人口減少対策を考える「氷見市15の観点」
出典：氷見市人口ビジョン

氷見市15の観点	
① 【しごと】	氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
①-2 【ひとの流れ】	他地域からの氷見高校入学者を増やす
② 【ひとの流れ】	20代のUターンを増やす
③ 【しごと】	氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
④ 【ひとの流れ】	氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
⑤ 【しごと】	④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
⑥ 【子育て】	子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
⑦ 【ひとの流れ】	定年後のUターンを増やす
⑧ 【安心な暮らし】	長生きをする＆健康寿命を伸ばす
⑨ 【ひとの流れ】	20～40代のI・Jターンを増やす
⑩ 【しごと】	20～40代のI・Jターン者が就きたい仕事を増やす
⑪ 【ひとの流れ】	他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
⑫ 【ひとの流れ】	定年後のI・Jターンを増やす
⑬ 【結婚】	結婚数を増やす
⑭ 【出産】	出生数を増やす
⑮ 【ひとの流れ】	未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

Point!

「ライフステージごとの人口移動」を把握した上で、市民の希望をかなえ、持続可能な社会にするための施策のポイントとして「15の観点」を設定した。それぞれのライフステージにおいて想定される人口流出の要因を可視化し、「しごと」、「ひとの流れ」、「結婚」、「出産」、「子育て」、「安心な暮らし」に分類して人口減少対策を掲げている。

【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】

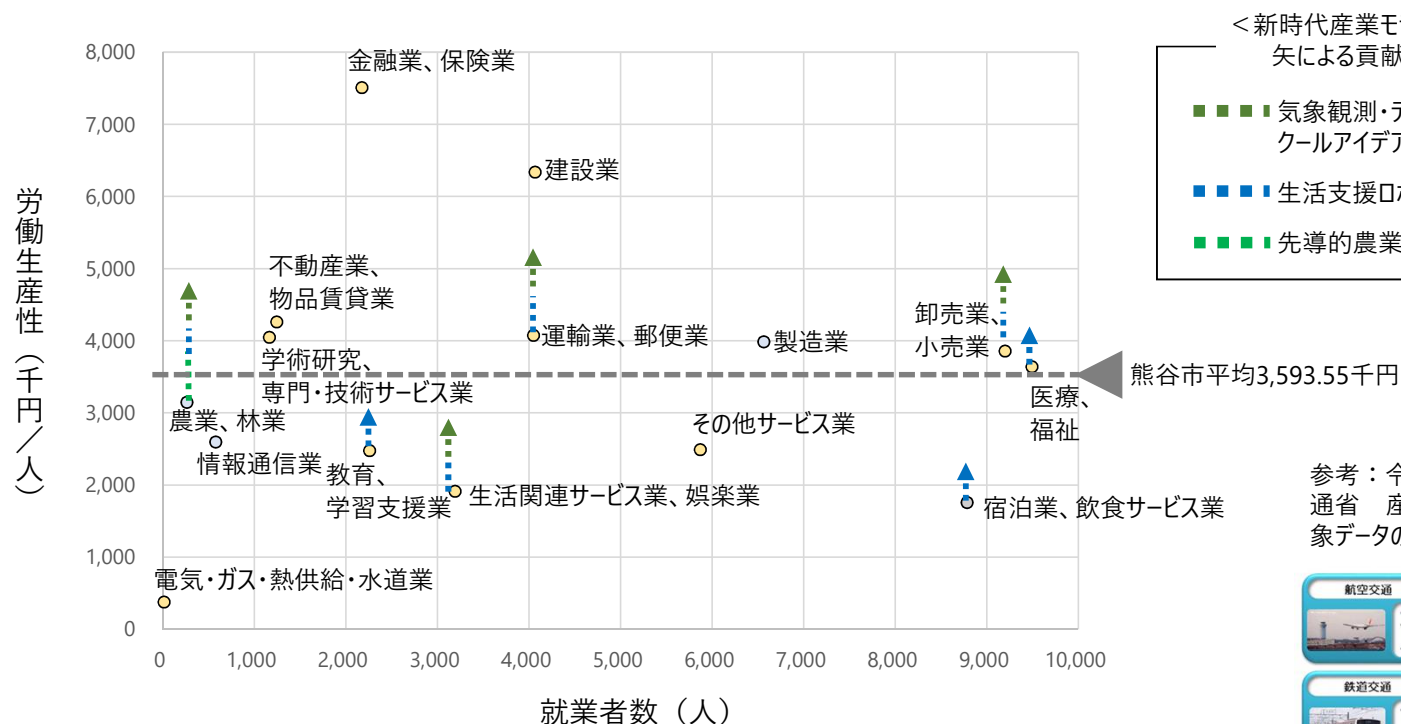


（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

(ステップ2) その産業の付加価値創出は経済的波及効果が見込めるか。【熊谷市について整理中】

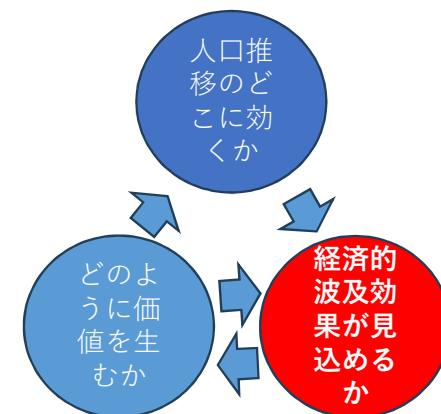
■熊谷市の産業別就業者数と利益※（2021）

熊谷スマートシティにおける新時代産業モデルが付加価値の向上に貢献しうると考えられる分野を整理。



- RESASの産業構造マップ情報を基に作成。また、次スライドの産業分類と整合するように作成。
- 上記の各産業への新時代産業モデルの貢献については、検討中の仮のものであり、各産業において具体的に実証・実装を目指す内容に応じて変化する。

【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

参考：令和3年3月国土交通省 産業分野における気象データの利活用促進

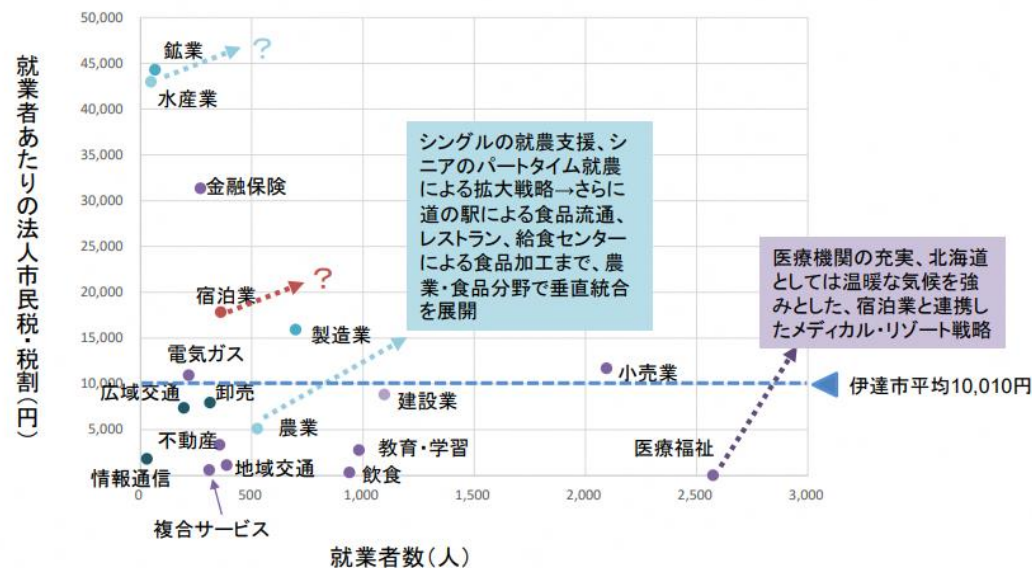


図2-1 産業分野における気象情報の利活用

(ステップ2) その産業の付加価値創出は経済的波及効果が見込めるか。 他市のサンプル

伊達市の産業別就業者数*と収益率(2012)

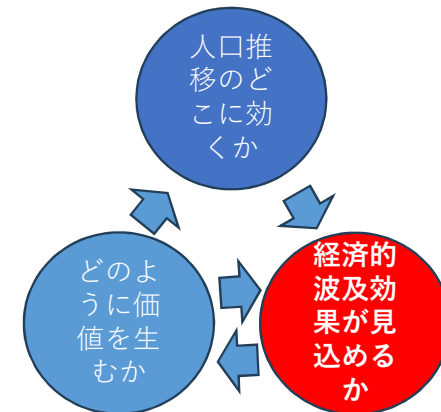
市平均の収益率を下回る農業と医療をてこに宿泊などと高収益の産業と連携して付加価値創出を図る戦略が模索されている



*就業者数は、税務データによる就業者数もしくは経済センサスによる就業者数のどちらか大きい方をとった。また、2014年調査の経済センサスは未公表のため、2012年の経済センサスを利用した
資料: RESAS、経済センサス、伊達市

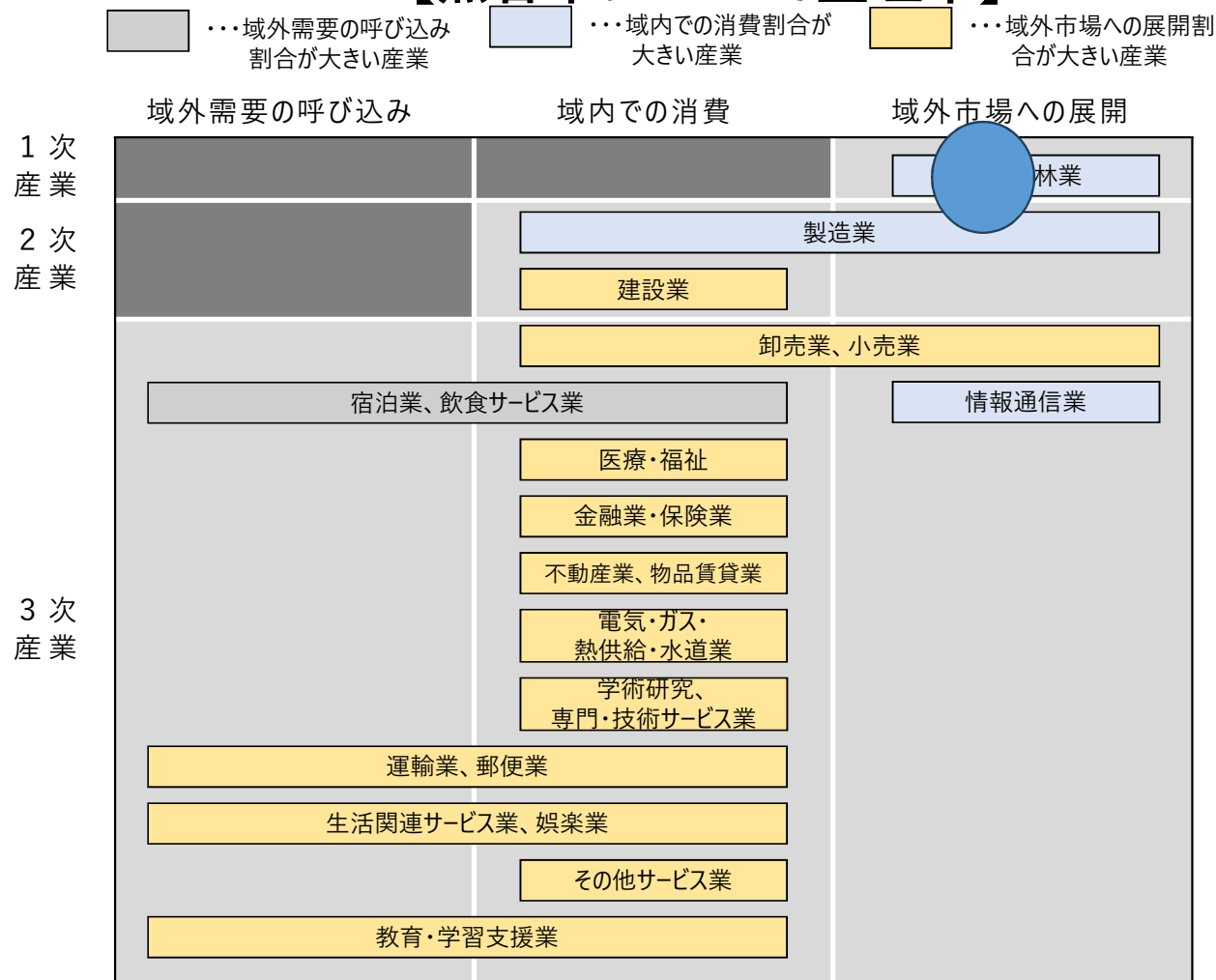
38

【新時代産業のシナリオ作成サイクル(案)】



(※) シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

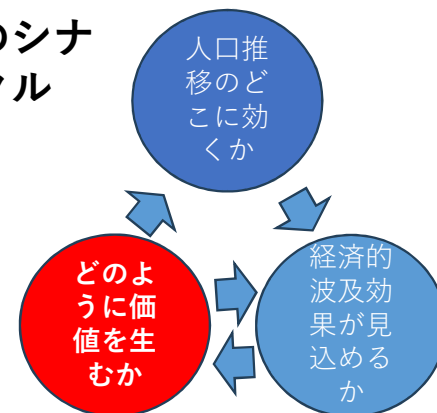
(ステップ3) 付加価値創出シナリオが具体的に描けるか。 【熊谷市について整理中】



資料：RESAS、熊谷市統計書を基に作成

【新時代産業のシナ リオ作成サイクル (案)】

(※) シナリオ検
討においては、素
案の段階から民間
との間で極力オー
プンな議論を行っ
ていく予定。



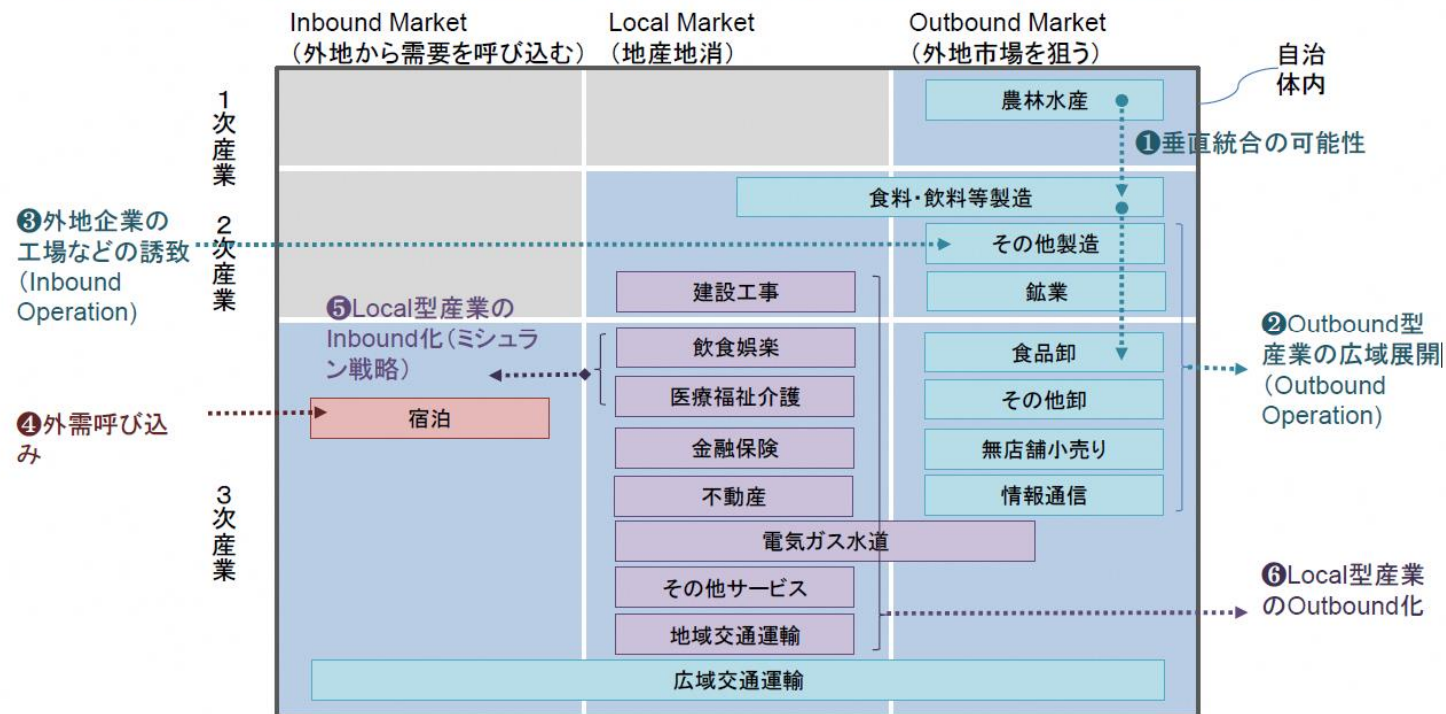
- ・RESAS、令和2年度版熊谷市統計書の情報を基に産業分類を作成。また、前スライドの産業分類と整合するように作成。
- ・各分産業分野について2象限に跨っている事由は以下のとおり整理（検討中）。
 - 製造業は食料品製造について域内消費分もあることから、域外の割合が大きいものの、域内の消費もあるため
 - 卸売業、小売業は域内での販売割合が大きい域外も対象に事業を営んでいるため
 - 宿泊業、飲食サービス業は宿泊業は市外客が中心となり、飲食サービス業も域外の需要が一定数あると想定されるため、域外需要の割合が大きい産業と考える
 - 運輸業、郵便業は広域交通も含まれるため
 - 生活関連サービス業、娯楽業はスポーツ興行も含まれるため
 - 教育・学習支援業は大学や専門学校、高校も含まれ、域外からの入学生があるため

(ステップ3) 付加価値創出シナリオが具体的に描けるか。

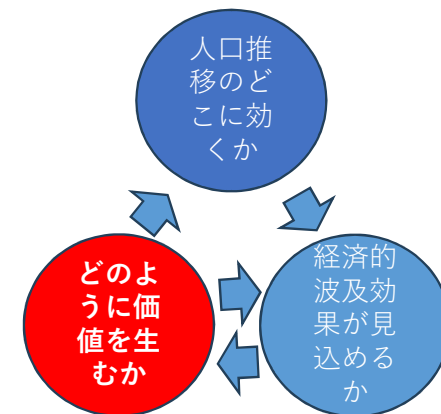
他市のサンプル

産業区分別の成長可能性

産業それぞれに成長の可能性があるが、Local需要に依存しない方向に進むことでは共通している。その意味でOutbound型、Inbound型の産業により大きなチャンスがあるように見える



【新時代産業のシナリオ作成サイクル (案)】



(※) シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まち
づくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の
検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

(参考) 「やさしい未来発見都市 熊谷」を実現する市民サービス

「クマぶら」を入口に、市民の様々な活動をアシストする情報・サービスを提供

コモンデータ^{*1}の蓄積・更新と住民参加の好循環へ

都市活動のアシストするデータ提供
(暑さ対策スマートパッケージなど)

デジタルコミュニティツール
+ Webコモンスペース

スマホ回数券
(コミュニティバス)

地域電子マネー・
コミュニティポイント

クラウドラボ等の
Webコモンスペース

バス位置情報
店舗等位置情報

都市サービスポータル
(クマぶら)

データ連携基盤

各アプリの連携・オプトイン（データ利用同意）により提供されたデータ分析によるサービスの向上

コモンデータ^{*1}

「誰でもデータ作成に関われる仕組みの考え方」を検討する上での用語としてデータ活用部会（熊谷スマートシティ推進協議会）において使用

(参考) 「気象観測・データ活用」に関する実装の状況①

熊谷駅周辺の市街地 8 か所に気象センサーを設置し、
気象シミュレーションを実施

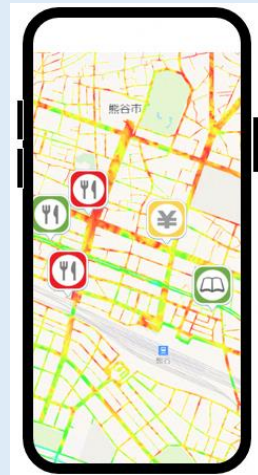
熊谷市暑さ対策スマートパッケージの機能

コミュニティポイント
ボーナス付与



コミュニティポイントが
獲得できるクールシェア
スポットを近い順に表示

クールシェアスポット
協調表示



クールシェアスポットの
場所・詳細情報の確認な
どができます。

まちなかヒートエリア
可視化



温熱環境シミュレーション
の結果を表示し、相対的に
暑いエリアが把握できます。

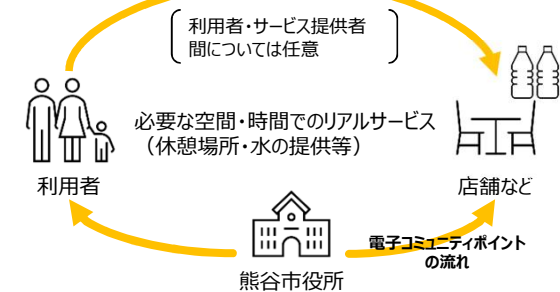


スマホサービス
(クマぶら)

気象シミュレーション範囲図
・シミュレーション範囲
熊谷駅を中心に徒歩15分圏内約 2 K m 四方



クマボを行動変容に活用

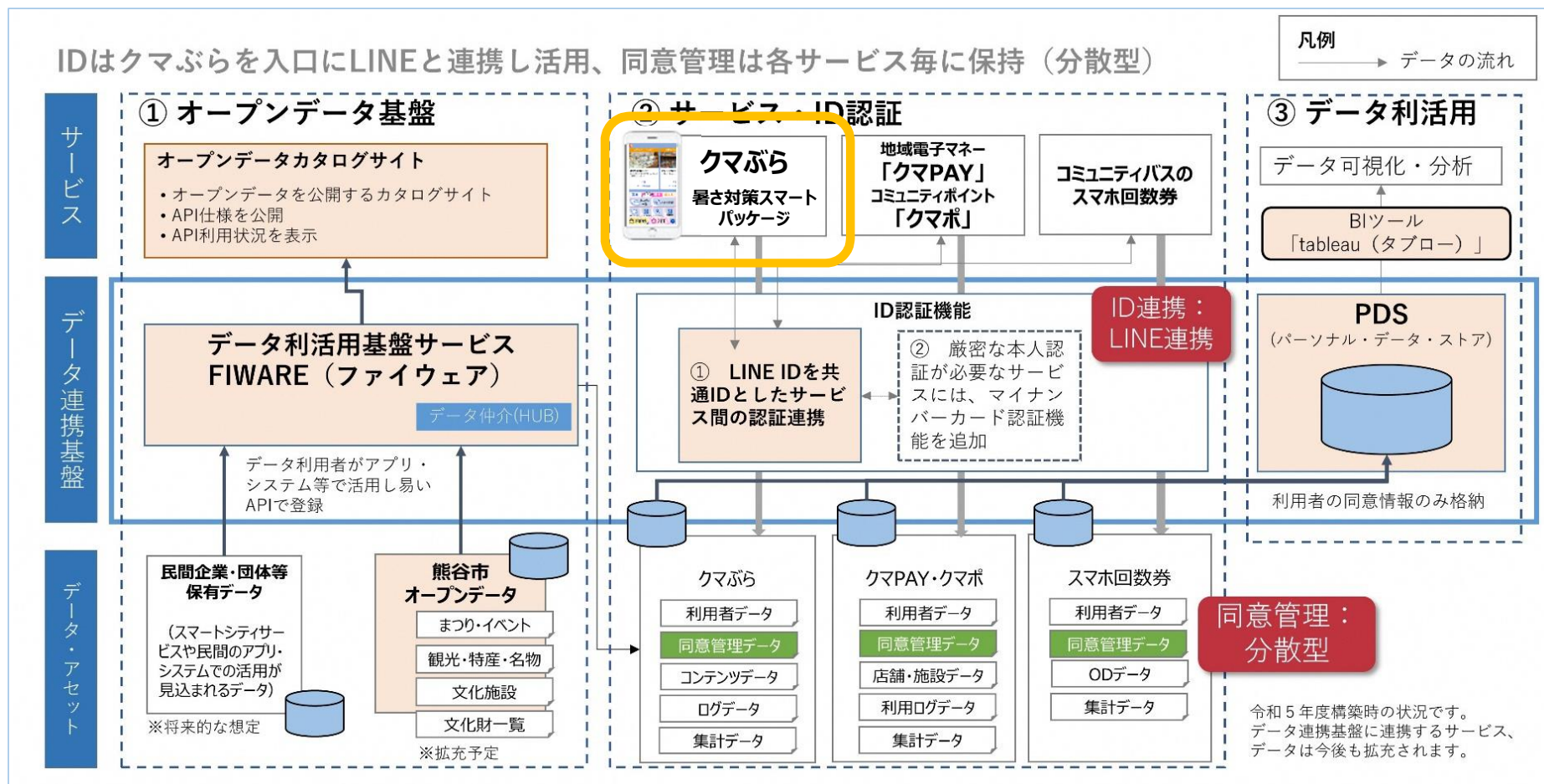


市民・来訪者と店舗が
Win-Winのまちなかウェルカム

45

(参考) 「気象観測・データ活用」に関する実装の状況②

～データ連携基盤システムと接続することで多様なデータ活用が可能



(参考) 「気象観測・データ活用・クールアイデア」の実践 (R6年度) ①

暑さ対策をテーマに“市民自らが”対策を立案し、観測データを取得・共有する取組としてスタート

スマートクールシティワークショップ
参加者が自ら考えた
「まちを涼しくするクールアクション」を
市内まちなか各所で実行します！

○5つの班ごとに、立正大学の協力により制作した手作りの気温観測装置を使って、
担当エリア内10か所の気温を測定し、実際の気温の違いを体感
○さらに各班バラエティに富んだクールアクションを実行し、実際に気温が下がるのかを検証

日時 7月27日(土) 13:30～15:30
・雨天の場合は8月11日(日)に順延します
・催行は7月26日(金)13:00に決定します

スケジュール
13:30 ワークショップ開始
13:45 各班ハートピア会議室を出発
班ごとに観測、クールアクションを行う
15:00 ハートピア会議室に戻る
15:30 終了

【記者の皆さまへ】
取材の際は、13:30までにハートピア会議室へお越しください。
ご説明、ご案内します。
男女共用参画推進センター「ハートピア」(筑波3-202 ティアラ2)4階

各班のクールアクション
(時間は実施の目安)

A班 14:40～15:00
星川広場を人工芝で
クールに変身大作戦

B班 14:00～14:45
雪国の「消雪パイプ」で
クール大作戦

C班 14:05頃から 1回目
14:25頃から 2回目
14:45頃から 3回目
打ち水の工夫とコミュニ
ティのかて街をクールに

D班 14:35～14:55
ねこのびのび
クールシティ作戦！

E班 14:00～14:50
遊んで冷やせ!!
～夏の水風船パタニング～

気象観測エリア

・赤枠は各班の担当エリア
・★はクールアクションポイント

特設
WEBサイト

市HP

【お問い合わせ】
熊谷市長公室政策調査課
Tel: 048-524-1114 (直通)

KUMAGAYA
SMARTCITY

使用する気象観測装置はすべて手作りです

立正大学データサイエンス学部の白木研究室に全面協力を
いただき、身近に手に入る材料で、安価に「簡易強制通風
シェルター」を制作していただきました。

簡易強制通風の製作 (概略図)

簡易強制通風シェルター

電子地図「カキコまっぷ」を使用します

- 「カキコまっぷ」は、学習情報研究センターが、子どもゆめ基金の助成を受け、デジタル教材として制作した教育用WebGISです。
- これまでの小学生用、中学生用に加え、データのインポート・エクスポートが可能な高校生用が2024年に公開されました。
- 今回のワークショップでは高校生用を使用し、予め登録した地点に、各班で計測した気温を入力していきます。
- 完成したデータは市のオープンデータとの組み合わせが可能です。

カキコまっぷからエクスポートしたCSVデータを、建物等を3Dデータ化した3D都市モデルの表示ができるGIS「Re:Earth (リアース)」にインポートした例

カキコまっぷ (高校生版) → CSV → 他GIS (地理空間情報システム) にインポート

特設
WEBサイト

市HP

【お問い合わせ】
熊谷市長公室政策調査課
Tel: 048-524-1114 (直通)

KUMAGAYA
SMARTCITY



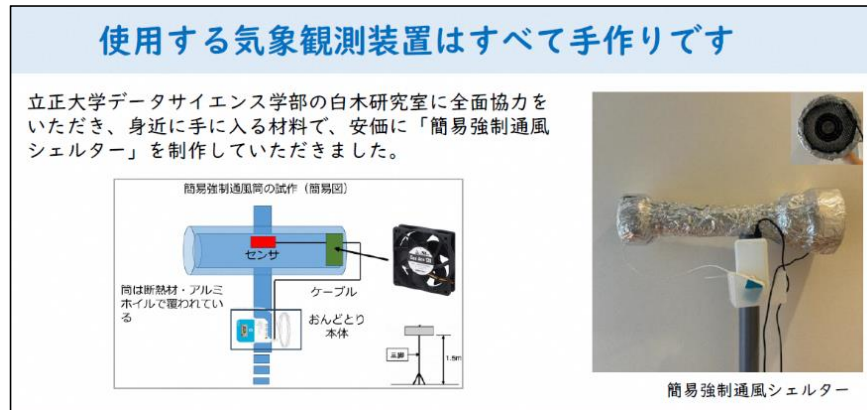
市民自らが考えた
アイデアの実践



ワークショップにおける気象観測フィールドワーク実施時のプレスリリース

(参考) 「気象観測・データ活用・クールアイデア」の実践 (R6年度) ②

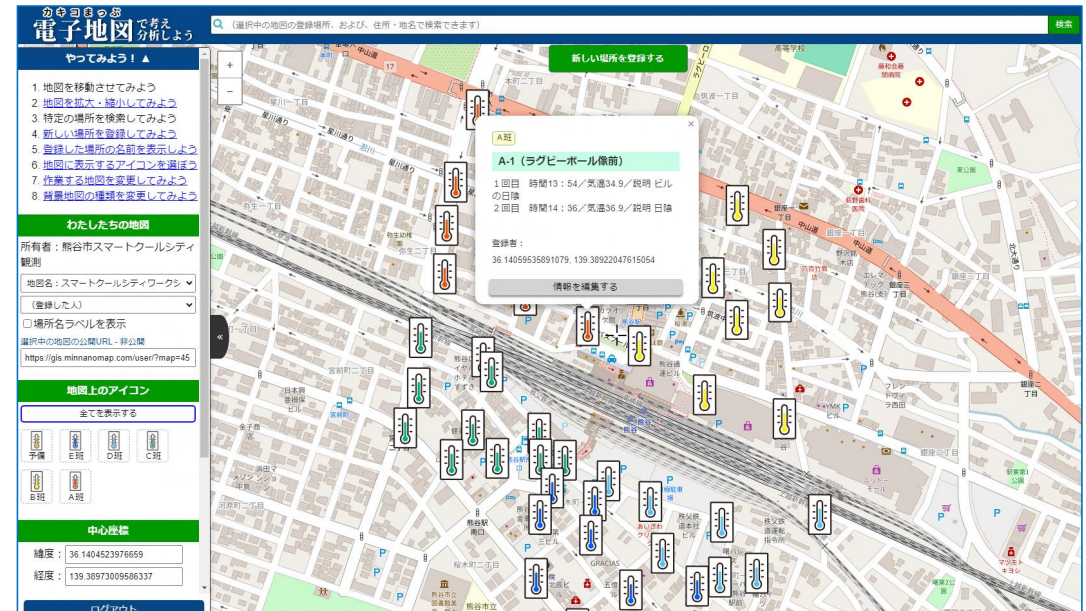
気象観測装置を適切に用いて気温データを取得、また補正を行い、研究論文への使用や、他都市の取組等との客観的な比較が可能なデータを作成し公表を予定



地元の立正大学の協力を得て作成した“手作り”の気象観測装置を使用して測定を実施

市民や大学と連携した
実験の場

オープンガバナンス



観測したその場で学習用WEBGIS
「カキコまっぷ」に入力しデータ化

(参考) 「気象観測・データ活用・クールアイデア」の実践 (R6年度) ③

「その都市に暮らしたい！」という思い

・エネルギー
・環境対策



居心地が良く
歩きたくなる
まちなかづくり

熊谷市では
デジタルの力で「安心」を提供し気温コンパチブルなまちづくりを実現する手法の
他都市への提供事業に取り組んでいます



(参考) 「生活支援ロボット・ドローン」に関する活動・団体等との連携

埼玉県庁(仮称)ロボティクスセンター等)、国(秩父市周辺等でのドローン実証)、団体(ロボットビジネス支援機構)などの関係者から熊谷市内での実証の提案を受けられる素地づくりに取り組むことを検討。

埼玉県ロボティクスネットワーク



SAITAMAロボティクスセンター (仮称)：令和8年度開所見込み



まちづくり社会実装コンソーシアム

2024年6月14日、秩父市において「まちづくり社会実装コンソーシアム設立準備会」を秩父市で開催し、多くの民間業者や自治体関係者が参加。

(秩父市は、2023年に経済産業省が策定した「デジタルライフライン全国総合整備計画」の中の「アーリーハーベストプロジェクト」の1つである「ドローン航路」の設定に関して先行地域に選定されている。)

アーリーハーベストプロジェクト		
2024年度からの実装に向けた支援策		
ドローン航路 180km以上 【送電線】埼玉県秩父地域 【河川】静岡県浜松市(天竜川水系)	自動運転サービス支援道 100km以上 【高速道路】新東名高速道路河湾沼津SA～浜松SA間 【一般道】茨城県日立市(大甕駅周辺)	インフラ管理のDX 200km²以上 埼玉県 さいたま市 東京都 八王子市
奥能登版デジタルライフライン		
ドローン航路等の線を面に展開する際の結節点となるモビリティ・ハブの整備等		

※デジタルライフライン全国総合整備計画

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/lifeline.html

NPO法人 ロボットビジネス支援機構 | RobiZy



(参考) 「生活支援ロボット・ドローン」に関する取組み（調整・検討中）

- ・市内企業等と連携し、生活支援ロボット・ドローン等の実証を受け入れやすい環境づくり、新たな運用の開発などについて可能性を探る。
- ・市民がまちなかで各種ロボット・ドローンに触れる機会の拡大にも着手。(中央公園イベントでの芝刈りロボットの展示、星川通りでの追従型ロボットの展示、星溪園での水中用ドローン展示などを調整・検討中。)
- ・ロボット・ドローンに関する上記の取組みにおいては、自動運転のビリティ、スマート農業等の普及促進や運用支援につながる可能性も意識して取り組む。

芝刈りロボット



追従型の運搬支援ロボット



水中用ドローン



【参考】提言「農と食を基軸とした熊谷市産業振興ビジョン」

(株式会社まちづくり熊谷より。市役所Webサイトに掲載済み。)

6 農と食を基軸とした 熊谷市産業振興ビジョン

【提言】 農と食の6次産業化を加速するクラスターの創出

テーマ1 次世代型農業の推進

<パイロット事業:池上地区ほ場など>

農業者・農業法人
スマート農業関連企業
教育・研究機関 ほか

テーマ2 農と食の関連企業の誘致

<産業用地>

食品加工企業
アグリテック企業
フードテック企業 ほか

テーマ3 物流機能と販売チャネルの拡充

<池上地区ほ場・非農用地ほか>

熊谷青果市場
道の駅・農産物直売所
スポーツ文化公園 ほか

テーマ4 農と食の6次産業化を加速するクラスターの創出 (オープンイノベーションセンター機能の創設)

■アグリビジネス・フードビジネス
の相談窓口
■農と食の共創フォーラムの運営
■6次産業化を加速する企業誘致

埼玉県、熊谷市
JA、地元金融機関
教育・研究機関 ほか

■農と食の関連企業の
マッチング
■新規就農者への支援
■次世代型農業への移行支援
■その他、関係機関・団体との連携

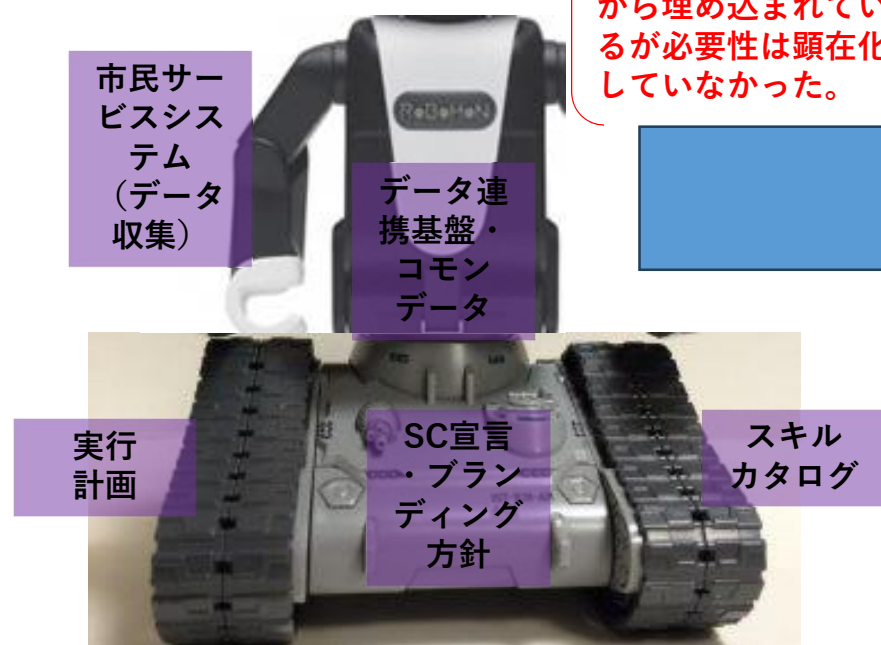
6 農と食を基軸とした 熊谷市産業振興ビジョン

	提言	場 所	主たる担い手	役割・機能など
テーマ1	次世代型農業の推進	市内農地 ＜パイロット事業＞ 池上地区ほ場など	☐ 農業者、農業法人 ☐ スマート農業関連企業 ☐ 教育・研究機関 (埼玉県農業大学校、 埼玉県農業技術研究 センター)ほか	① 農業DXを取り入れた米麦生産の実証 ② 次世代型大規模施設園芸による栽培の実証 ③ 大規模ほ場整備、主たる担い手への集約推進
テーマ2	農と食の関連企業の誘致	産業用地	☐ 食品加工企業 ☐ アグリテック企業 ☐ フードテック企業 ほか	① 6次産業化を加速する関連企業の誘致促進
テーマ3	物流機能と販売チャネルの拡充	新青果市場 集客施設 池上地区ほ場・ 非農用地ほか	☐ 熊谷青果市場 ☐ 熊谷市(道の駅) JA(農産物直売所) ☐ 埼玉県(スポーツ文化 公園) ほか	① 保管・加工・物流を備えた青果市場の機能拡充 ② 道路と鉄道の結節によるモーダルコンビネーションの検討 ③ 道の駅、農産物特売所、スポーツ文化公園などとの連携強化による販売チャネルの拡充
テーマ4	農と食の6次産業化を加速する産業クラスターの創出 (オープンイノベーションセンター機能の創設)		☐ 埼玉県、熊谷市 ☐ JA、地元金融機関 ☐ 教育・研究機関 (埼玉県農業大学校、 埼玉県農業技術研究 センター)ほか	① アグリビジネス、フードビジネスの相談窓口 ② 農と食の共創フォーラムの運営 ③ 次世代型農業への移行支援 ④ 産学官金連携によるイノベーションの推進

(参考資料)

初期実装状態と、令和6年度末に向けて 目指していく全体像（案）

令和6年度初頭の時点で、追加パーツの整備がうまくいかなかったも、行政サービス型スマートシティとしては一定の機能を確保することを目指してきたところ。



Webリテラシーは元から埋め込まれているが必要性は顕在化していなかった。

③外部演算装置として戦略会議等を再設定



④産業創造向けパーツの追加（新時代産業の設定と人口・産業軸上の位置づけ）

【人の力】情報公開と双方向性に係るWebリテラシー

Webコミュニティスペース

①Webコミュニティ向けパーツの追加

②プロポーションの分かりやすさ向けパーツを追加

データドリブンの軸

コミュニティの軸

スキルカタログ

（※）本来、オープンガバナンスを実現する一部としてスマートシティの取組みの有無に関わらずWebリテラシー向上が図られるべき。

（※）本シートの画像は著作権未処理のため関係者限り。

〔仮称〕「熊谷市ドローン・ロボット・インフラ3D画像会議」について（案2）

以下①～⑦の、今後建設部との連携が必要となると見込まれるテーマについて、情報を共有し、市役所としての対応方針を調整する会議として上記会議の設置を検討。（通常は①②「ドローン」、③「ロボット」、④⑤「モビリティ」、⑥「インフラ3D画像」の4班に分かれて活動することを想定）

①ドローン・発着実験チーム 河川課・（スマートシティ班）
②ドローン・産業チーム 企業活動支援課・スマートシティ班
（※）個別政策へのドローン活用に関しては②チームに担当課（危機管理課など）を追加

③生活支援ロボットチーム 企業活動支援課・（スマートシティ班）

④グリーンスローモビリティチーム まちなか再生担当・（スマートシティ班）・（交通担当）
（注）小型モビリティは自動化の必要性を念頭に、R8年度以降、③の一部で取り扱うことを想定。

⑤（自動運転チーム） スマートシティ班・交通担当

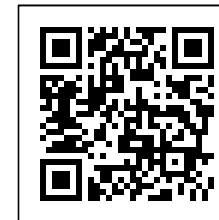
⑥インフラ3D画像活用チーム 維持課・（スマートシティ班）

【参考】

⑦クールシティデータ活用チーム 環境政策課（暑さ対策）・スマートシティ班（システム・データ連携）・（起業に関しては企業活動支援課）
⑧クールシティまちなか実装チーム 環境政策課・まちなか再生担当

(参考) スマートシティ関係政策紹介URL

① スマートクールシティWS特設ページ (R6年度実施内容を随時更新中)



② 暑さ対策スマートパッケージ解説動画



③ クールシティの横展開等解説動画



④ 日経BP「新・公民連携最前線」記事 (コラム企画「どうなる? ニッポンのスマートシティ」内) 「持続性のあるスマートシティ施策には“土台”づくりが不可欠」

